

## 令和6年度指定管理者制度導入施設評価票

番号	公共施設名	指定管理者名	担当所管課	指定期間(年. 月－年. 月)		ページ
1	小林市コミュニティバス	宮崎交通株式会社	企画政策課	R6.4－R11.3	5年間	1
2	北きりしま物産センター	小林物産会協同組合	農業振興課	R6.4－R9.3	3年間	3
3	小林市西ノ原農村集会所	小林市北西地区村づくり推進協議会	農業振興課	R6.4－R11.3	5年間	5
4	小林市堤下構造改善センター	小林市堤下地区村づくり推進協議会	農業振興課	R6.4－R11.3	5年間	7
5	小林市平川地区コミュニティセンター	平川土地改良組合	農業振興課	R3.4－R8.3	5年間	9
6	小林市東方研修館	東方区自治会	農業振興課	R3.4－R8.3	5年間	11
7	小林市バイオマスセンター	有限会社小林堆肥センター	畜産課	R2.4－R7.3	5年間	13
8	小林市コスモホール	株式会社NPK	商工観光課	R4.4－R9.3	5年間	15
9	生駒高原観光レクリエーションセンター	株式会社NPK	商工観光課	R4.4－R9.3	5年間	15
10	シルバーランド望峰の里	社会福祉法人 小林市社会福祉協議会	長寿介護課	R4.4－R7.3	3年間	17
11	小林市シルバーワークプラザ	公益社団法人 小林市シルバー人材センター	長寿介護課	R3.4－R8.3	5年間	23
12	小林市養護老人ホーム慈敬園	社会福祉法人 コスモス会	長寿介護課	R3.4－R8.3	5年間	25
13	小林市中央児童センター	特定非営利活動法人 小林子育て支援協会	こども課	R4.4－R7.3	3年間	27
14	小林市西小林児童センター	特定非営利活動法人 小林子育て支援協会	こども課	R4.4－R7.3	3年間	27
15	須木農産物加工場	農業生産法人 有限会社すき特産	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	30
16	須木診療所	医療法人 相愛会	住民生活課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	32
17	内山へき地診療所	医療法人 相愛会	住民生活課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	32
18	須木歯科診療所	誠仁会	住民生活課(須木)	R6.4－R9.3	3年間	34
19	内山地域福祉センター	社会福祉法人 そうあい	住民生活課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	36
20	内山地区運動広場	内山区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	38
21	高齢者コミュニティセンター城山館	麓区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	40
22	下田地区農業構造改善センター永田館	永田区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	42
23	中河間地区生活改善センター	中河間区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	44
24	夏木地区多目的研修集会施設夏木館	夏木区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	46
25	堂屋敷集会施設	堂屋敷区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	48
26	下九瀬公民館	下九瀬区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	50
27	上九瀬公民館	上九瀬区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	52
28	奈佐木地区多目的研修集会施設	奈佐木区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	54
29	須志原集会施設	須志原小組合内山区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	56
30	袋地区営農研修館	袋小組合原区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	58
31	原地区集会施設	原区	地域振興課(須木)	R3.4－R8.3	5年間	60
32	すきむらんど	株式会社BRIDGE the gap	商工観光課	R4.4－R9.3	5年間	62
33	小林市立図書館・小林市立図書館須木分館・ 小林市立図書館野尻分館	特定非営利活動法人 小林図書館の森とらいくる	社会教育課	R3.4－R8.3	5年間	64

番号	公共施設名	指定管理者名	担当所管課	指定期間(年. 月一年. 月)		ページ
34	小林総合運動公園市営プール	株式会社 FOUR-LEAF	スポーツ振興課	R3.4-R8.3	5年間	66
35	野尻湖多目的広場	ハーメックのじり株式会社	商工観光課	R2.4-R7.3	5年間	68
36	野尻町総合交流ターミナル	ハーメックのじり株式会社	商工観光課	R2.4-R7.3	5年間	70
37	野尻町有機センター	株式会社のじりアグリサービス	地域振興課(野尻)	R2.4-R7.3	5年間	72
38	野尻町高齢者活動促進施設	有限会社のじり農産加工センター	地域振興課(野尻)	R2.4-R7.3	5年間	74
39	野尻町保健福祉センター	社会福祉法人 小林市社会福祉協議会	住民生活課(野尻)	R5.4-R10.3	5年間	76
40	小林市出の山淡水魚水族館	小林まちづくり株式会社	商工観光課	R4.4-R7.3	3年間	78
41	小林市出の山名水ホテル広場	小林まちづくり株式会社	商工観光課	R4.4-R7.3	3年間	78
42	小林市営牧場	宮崎県農業協同組合こばやし地区本部	畜産課	R2.4-R7.3	5年間	80
43	小林市地域・観光交流センター	小林まちづくり株式会社	商工観光課	R3.4-R8.3	5年間	82

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)								整理番号	指定1	
指定管理者制度導入施設名				小林市コミュニティバス				所属部・課名	総合政策部 企画政策課	
所在地				小林市細野2152番地(宮崎交通小林営業所内)				グループ名	企画政策G	
総合計画との関連	大綱	4	くらし					指定管理制度導入年度	平成19年10月1日	
	施策	(6)	地域生活交通の充実を図ります					利用料金制の有無	①・無	
	方針	1	市民の移動手段の確保					指定管理委託料の有無	①・無	
指定管理者名称				宮崎交通(株)				自主事業の有無	①・無	
指定期間				令和6年4月～令和11年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	①・無	
施設の設置目的				高齢者や学生など交通手段を有しない者の日常生活に必要な移動手段を確保するとともに、交通空白地域の解消を図るため。						
指定管理者が行う業務内容	基本事業	コミュニティバスの運行及び設備の維持管理								
	自主事業	チラシの配布・停留所新設、特典制度の導入、広告の掲載								
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)		
17,035,000	3,015,600	0	20,050,600	4,620,747	18,439,236	75,600	23,135,583	-3,084,983		
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)		
18,601,000	3,500,000	0	22,101,000	4,168,000	17,851,000	82,000	22,101,000	0		
目標状況	成果指標		R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	高齢者や学生など交通手段を有しない住民の日常生活に必要な移動手段確保のため、利用状況に合わせた路線の見直しを実施し、利便性の向上を図った。			
	利用料金等収入	目標	3,900,000	3,500,000	3,500,000					
		実績	3,561,700	3,015,600						

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者 総合評価	運行業務全般については、基本協定書・仕様書・運行計画等に基づいたサービスの提供、路線変更への柔軟な対応ができていますと評価している。利用促進について、前年度の利用者数・目標利用者数は全体的には下回っているが路線によっては上回っている路線もあるため、PR活動及び地域住民と一体となった利用促進を図っていく必要があると考える。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	市内在住の65歳以上の高齢者が運転免許証を自主返納した場合、1乗車100円で乗車できる免許返納特典制度(3年間)、また宮交スマート65を提示すると区間によっては1乗車100円で乗車出来る制度の更なる周知を図る。利用状況や要望等を集約し、ダイヤ改正やルート変更等について検討する。感染予防対策を徹底し安心・安全なコミュニティバスを目指す。乗り方教室を積極的に実施する。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	利用人数及び利用料金の業務実施状況を月に1回、年間の事業実績等の業務報告書を年度終了後に提出を受け、聞き取りも行いながら状況の確認を行った。
指導事項等及び改善状況	令和2年度に新規車両に対する保険の加入について指導を行っているが、再発防止が実施されおり、基本協定書や仕様書に基づき、任意保険に加入している。
指定管理業務の収支状況	利用者数及び利用料金収入ともに前年度と比較し減少した。また、燃油高騰等により支出が拡大しているものの、指定管理者において燃油高騰対策等を行うなど収支改善の努力が見られる。
自主事業の収支状況	自主事業による直接的な収入はないが、「運転免許証自主返納者」特典制度や宮崎交通発行の特殊定期券「悠々パス」「みやざきシニアパス」の共通利用などを行い、利用促進につなげている。
指定管理者の経営状態の健全性	宮交HDは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい状況にあるものの、「2024～2026 年度3カ年中期経営計画」を策定し、これまで以上にグループの稼ぐ力を高め収益の拡大を実現するとされており、経営状態の健全性の確保を進めている。 宮崎交通株式会社としては、新サービスの開発や利用者の利便性を考慮したダイヤ改正などサービス品質向上を通じて更なる需要喚起を目指している。また、宮崎県や各市町村と一体となって効果的な利用促進策を検討、実行することで増収に取り組んでおり、経営状態の健全性の確保が期待できる。
所管課 総合評価	本市において、コミュニティバスは交通弱者の移動手段となり、生活を支える重要な役割を担っている。令和6年度の利用者数及び利用料金収入は、前年度と比較し減少しているものの、特に通学路線や商業地循環する路線については、一定のニーズがあるため、今後も利用者ニーズに沿った運行形態の見直しや利便性の向上により利用者増を目指すとともに路線の適正化を図るため、指定管理者と連携して取り組んでいく必要がある。 安全性の確保については、乗務員の安全教育に力を入れており、運転士の経験や年齢に応じた研修や講習を定期的実施している。引き続き事故防止に努め、利用者にとって安心・安全かつ満足度の高いサービスになる取組を促していく。また、令和3年度に策定した「小林市地域公共交通計画」に沿って、行政と交通事業者が更に協力し、コミュニティバスや他の交通手段の見直しを検討し、利用者にとって最適な交通体系を目指す。

## 【小林市コミュニティバス】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	運行計画等に基づき適切に運行されている。
	法令等の順守はされているか。	○	道路運送法や小林市コミュニティバスの設置条例等に基づき適切に運行されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	二種免許等バス運転に必要な有資格者が適正に配置されている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	労働関係法令に基づき適正に管理されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	運行管理体制や事故処理連絡体制が整備されており、緊急時の体制は確保されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	4台のバスを効率的に運行している。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	利用の拒否はなく、適切に運行されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	利用料金は日報等により日々適切に管理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	基本協定書、仕様書及び業務計画書に基づき適切に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	基本協定書に基づき適切に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	基本協定書に基づき適切に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適切に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	令和2年度に行った指導に対し、再発防止が実施されており、基本協定書や仕様書に基づき、任意保険に加入している。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	基本協定書に基づき適切に実施されている。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適切に実施されている。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切に実施されている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	迅速かつ適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	基本協定書に基づき適切に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適切に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適切に執行されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	車外・車内とも適切に清掃されている。
	施設、設備の保守管理状況	○	バス車両の法定検査や45日点検の実施など、適切に管理されている。
	保安警備業務の状況	○	バス車両や関係備品など、適切に警備されている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	アイドリング・ストップ走法の徹底により、排出ガス等が抑制されている。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要



# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(P)～実施(D)

指定管理者導入施設名				北きりしま物産センター				整理番号		指定2	
所在地				小林市南西方1191番地1				所属部・課名		経済建設部 農業振興課	
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい					グループ名		畑かん推進G	
	施策	(1)	農林水産業を振興します					指定管理制度導入年度		平成18年度	
	方針	3	農家所得の向上					利用料金制の有無		(有)・無	
指定管理者名称				小林物産会協同組合				指定管理委託料の有無		(有)・無	
指定期間				令和7年4月～令和10年3月 (3年間)				自主事業の有無		(有)・無	
施設の設置目的				農畜産物及び特産品の展示販売及び畜産物産地形成の促進を図るため。							
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 農畜産物及び特産品の展示販売の利用に供する業務									
	自主事業	② 高齢者等が生産する工芸品の製作実演及び展示販売の利用に供する業務 新型コロナウイルス感染症の状況次第となるが、各種物産展に出店し、特産品の宣伝に努める。また食堂の集客力を向上を図る。									
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支			
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
3,955,000	6,535,494	4,917,195	15,407,689	10,155,745	5,003,596	111,297	15,270,638	137,051			
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支			
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
3,955,000	6,731,000	5,160,000	15,846,000	10,350,000	5,095,000	401,000	15,846,000	0			
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	公式Instagramの開設。 新商品開発(じゃりぱん)			
	来館者数(人)	目標	15,000	16,000	16,000						
		実績	15,200	14,700							
			目標								
		実績									

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	令和5年度に牛商牛力とタイアップして開発した肉丼に続き、令和6年では新たな米粉商品として昔懐かしい商品「じゃりぱん」を開発。幅広い年齢層に対応するため、当時のものと比べ甘さを抑えたものとした。イベント時に販売しており、間もなく四季彩館での販売も予定している。また、令和6年10月より四季彩館の公式Instagramを開設し、イベントの告知や商品の宣伝を行っている。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	引き続き、公式Instagramによる施設の宣伝及び固定客の確保に努める。

### 所管課の総合評価※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	市役所及び現地にて担当者や従業員から話を聞き状況の把握を行っている。
指導事項等及び改善状況	施設のレイアウト変更(来客者の導線の確保)を令和6年4月に指導し、令和6年5月に改善。
指定管理業務の収支状況	経理については、会計事務所が行っているため、適正な収支状況である。
自主事業の収支状況	人件費を考慮するとマイナス収支ではあるが、指定管理者は売上増加のための商品開発やPR活動に意欲的である。
指定管理者の経営状態の健全性	健全である。
所管課総合評価	指定管理者からの申し出により令和6年1月から駐車料金を300円から500円に値上げを行っことで駐車料金だけで前年比約200万円の増収となり、施設の修繕や備品の更新のための費用を捻出できたことから市の財源を使わず管理運営の安定を図ることができている。 また、原材料費の高騰により令和6年4月より食堂や米粉パンの値上げを行ったが、売上高から売上原価を引いた売上総利益を昨年度と比較すると約20万円のプラスとなっていることから、値上げの影響はないものと思われる。 公式Instagramの開設等運営には非常に意欲的である。 今後は活性化プロジェクトにより施設の方針を含めた検討を行っていく。

## 【北きりしま物産センター】モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守されている。
	法令等の遵守はされているか。	○	関係法令は遵守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	常時2名以上を配置している。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	3人の従業員でローテーションを組んでいる。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	連絡網が整備されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	前年と比べ利用者は増加しているが以前ほどではない。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。(駐車場)
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。(駐車場)
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	期日内に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	保険に加入している。(食品、駐車場)
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	適切である。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	組合で取り組んでいる。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切に実施されている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応している。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	経理事務は、会計事務所が行っている。
維持管理	清掃業務の状況	○	管内外ともに清潔に保たてられている。
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に行われている。
	保安警備業務の状況	○	警備会社に委託している。(施設、駐車場)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に行われている。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(P)～実施(D)

指定管理者 導入施設名				小林市西ノ原農村集会所				整理番号	指定3
所在地				小林市北西方3157番地9				所属部・課名	経済建設部 農業振興課
総合計画 との関連				大綱 1 にぎわい 施策 (1) 農林水産業を振興します 方針 3 農家所得の向上				グループ名	畑かん推進G
指定管理者名称				小林市北西地区村づくり推進協議会				指定管理制度導入年度	平成18年度
指定期間				令和6年4月～令和11年3月 (5年間)				利用料金制の有無	(有)・無
施設の設置目的				地域農村の振興及び生活の向上を図るため。				指定管理委託料の有無	(有)・無
指定管理 者が行う 業務内容		基本 事業	① 集会所の施設及び設備の維持管理に関する業務 ② 業務の計画及び実施に関する業務 ③ 集会所の利用の許可及び制限に関する業務 ④ 集会所の利用料金に関する業務 ⑤ ①～④に掲げるもののほか、集会所の運営に関する業務のうち、市長の権限に属する事務を除く業務						
		自主 事業	なし						
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
113,000	1,800	115,315	230,115	89,634	0	0	89,634	140,481	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
113,000	3,000	141,000	257,000	257,000	0	0	257,000	0	
目標状況		成果指標		R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポ イント等)	地域活動の拠点として施設の 有効利用を図っている。	
		利用者数	目標	1,000	1,000	1,000			
			実績	750	752				
			目標						
		実績							

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者 総合評価	施設は地区の活動に使用している。 施設内外の清掃整備を行っているが、施設の老朽化が進んでいることから今後どのような修繕箇所ができるか見通しが難しい。 しかしながら、住民間で交流のできるサロンの開催や防災訓練を行うことにより有事の際の備え、また施設の立地条件等を活かし子供と地域の住民がふれあえるeスポーツを行ったことにより世代間交流ができた。 今後とも施設が地域活動の中心となるよう維持管理に心がけていく。
R7年度取り組む 見直し改善点・具 体的な活動内容	施設の修繕箇所等十分ではないので、引き続き地域住民が活用しやすい施設として運営できるよう市と協議を行っていく。

所管課の総合評価※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地 調査実施状況	聞き取り調査や実地検査で管理業務の確認を行い、かつ事業報告により運営状況を確認している。
指導事項等及 び改善状況	円滑に運営されている。
指定管理業務 の収支状況	必要な備品や簡易な修繕材料は地区住民から調達し支出を最低限に抑えており、健全な収支状況である。
自主事業の収 支状況	eスポーツは区としての取組のため、施設の無料貸し出しとしているため指定管理としての収入支出はない。
指定管理者の経 営状態の健全性	経営状態は健全である。
所管課 総合評価	施設は地域の防災活動や地域おこし活動等、様々な活動に使用されている。 また、施設内外の清掃や整備はもちろんのこと高齢な利用者への配慮(勝手口から施設に上がる際の段差の解消)も行 き届いている。さらには、区によるeスポーツの開催等施設を利用した地域交流にも力を入れている。 以上により、指定管理者として利用者への配慮や施設の有効活用等非常に優れた管理をされている。 施設の地区移管については、地区での協議になるが、施設の整備(LED化、屋根修繕等)が条件の一つとなる。

## 【小林市西ノ原農村集会所】モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守されている。
	法令等の遵守はされているか。	○	関係法令は遵守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	役員により適正人員で管理されている。
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。	△	該当なし
	緊急事態の対応がとれているか。	○	連絡網が整備されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に行われている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	期日内に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	△	該当なし
	自主事業の実施状況は適切であるか。	△	該当なし
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	利用者が利用しやすい環境を心掛けている。
	接遇について適切に実施されているか。	○	利用者の立場になって対応している。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	施設の状況を確認し市と情報共有をしている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に行われている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に行われている。
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に行われている。
	保安警備業務の状況	○	適正に行われている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に行われている。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者導入施設名				小林市堤下構造改善センター				整理番号	指定4
所在地				小林市堤3863番地4				所属部・課名	経済建設部 農業振興課
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい					指定管理制度導入年度	平成18年度
	施策	(1)	農林水産業を振興します					利用料金制の有無	(有)・無
	方針	3	農家所得の向上					指定管理委託料の有無	(有)・無
指定管理者名称				小林市堤下地区村づくり推進協議会				自主事業の有無	有・(無)
指定期間				令和6年4月～令和11年3月 (5年間)				キックバック条項の有無	有・(無)
施設の設置目的									
指定管理者が行う業務内容		基本事業	① センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ② センターの業務の計画及び実施に関する業務 ③ センターの利用の許可及び制限に関する業務 ④ センターの利用料金に関する業務 ⑤ ①～④に掲げるもののほか、センターの運営に関する業務のうち、市長の権限に属する事務を除く業務						
		自主事業	なし						
R5年度収入実績(単位:円)				R5年度支出実績(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
153,000	102,850	136,257	392,107	315,983	0	0	315,983	76,124	
R6年度収入計画(単位:円)				R6年度支出計画(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
153,000	80,000	77,000	310,000	310,000	0	0	310,000	0	
利用者数				R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域活動の拠点として施設の有効利用を図っている。	
			目標	1,000	1,000	1,000			
			実績	846	913				
			目標						
			実績						

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	令和7年3月に施設の築30周年記念事業を行ったため昨年度より利用者数は増加しているが、それがなければ昨年度とほぼ同じ利用人数となる。 地区内の高齢化は依然として高い状況にあり、若い世代は増えているようだが組に加入していただけない。そのため、施設の管理(清掃)についても、9つの組に依頼しているが、構成員が少ない組もあり清掃すらが大きな負担となっている。※指定管理者で月1回は清掃を行っている。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	利用者に気持ちよく利用してもらうために、利用後の清掃、道具の整備・点検を行う。

所管課の総合評価※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	聞き取り調査や実地検査で管理業務の確認を行い、かつ事業報告により運営状況を確認している。
指導事項等及び改善状況	なし
指定管理業務の収支状況	指定管理料及び利用料で健全な収支状況である。
自主事業の収支状況	なし ※築30周年記念事業は区としての活動。
指定管理者の経営状態の健全性	経営状態は健全である。
所管課総合評価	常会(組)で開催する催し物も減少傾向にあり、施設の地区移管についても前向きな返答は得られていない。施設については、適切に管理・運営され問題無いと思われるが、今後の利用件数の減少が懸念される。

## 【小林市堤下構造改善センター】モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守されている。
	法令等の遵守はされているか。	○	関係法令は遵守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	役員により適正人員で管理されている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	△	該当無し
	緊急事態の対応がとれているか。	○	連絡網が整備されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準と思われる。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	△	該当無し
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	期日内に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	△	該当無し
	自主事業の実施状況は適切であるか。	△	該当無し
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	地区で取り組んでいる。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切に実施されている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応している。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に行われている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に行われている。
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に行われている。
	保安警備業務の状況	○	適正に行われている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に行われている。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)								整理番号	指定5
指定管理者導入施設名				小林市平川地区コミュニティセンター				所属部・課名	経済建設部 農業振興課
所在地				小林市細野928番地3				グループ名	畑かん推進G
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい	指定管理制度導入年度				平成18年度	
	施策	(1)	農林水産業を振興します	利用料金制の有無				(有)・無	
	方針	3	農家所得の向上	指定管理委託料の有無				(有)・無	
指定管理者名称				平川土地改良区				自主事業の有無	有・(無)
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 (5年間)				キックバック条項の有無	有・(無)
施設の設置目的				平川土地改良区域内の農村活性化及び地域住民のコミュニティを図るため。					
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① センターの利用の許可及び制限に関する業務 ② センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ③ センターの業務の計画及び実施に関する業務 ③ ①②に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、市長の権限に属する事務を除く業務							
	自主事業	なし							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
294,000	215,000	242,387	751,387	612,567	0	0	612,567	138,820	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
294,000	240,000	139,000	673,000	673,000	0	0	673,000	0	
目標状況	成果指標		R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)			健康増進や地区活動等に利用されている。
	利用者数	目標	3,500	4,000	4,000				
		実績	3,819	3,690					
		目標							
		実績							

評価(Check)～改善(Action)  
指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	利用者も高齢化していることから利用件数が年々減少傾向にきている。 今後急激な利用者の増加は難しいが、今利用されている方の利便性を維持しつつ、少しでも利用者及び利用件数の増加を図りたい。 また利用者の多くがアリーナ(体育館)を利用されるため、夏場には休憩用として和室(空調設備有り)も併用して借用することを勧めている。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	近年は猛暑の期間が長いため、引き続き熱中症対策としての和室(休憩用)の借用及びこまめな水分補給等の声かけを行い、これからも利用者が安心して気持ちよく利用できる施設となるよう管理整備を行う。

所管課の総合評価※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	聞き取り調査や実地検査で管理業務の確認を行い、かつ事業報告により運営状況を確認している。
指導事項等及び改善状況	円滑に運営されている。
指定管理業務の収支状況	指定管理料及び利用料で健全な収支状況である。
自主事業の収支状況	なし
指定管理者の経営状態の健全性	令和6年度に管理費を増額したことで、今後の管理運営が厳しい見通しとなった。そのため、指定管理者には利用料の増額改定について提案した。
所管課総合評価	地区住民の利用が中心であり、交流の場及び健康増進の場として利用が多く、施設の運営については問題ないと思われる。施設の地区移管については、前向きな返答は得られず(浄化槽の保守点検等の費用の捻出が難しい)。

## 【小林市平川地区コミュニティセンター】モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守されている。
	法令等の遵守はされているか。	○	関係法令は遵守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	役員により適正人員で管理されている。
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。	△	該当なし
	緊急事態の対応がとれているか。	○	連絡網が整備されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準と思われる。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	期日内に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	△	該当なし
	自主事業の実施状況は適切であるか。	△	該当なし
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	土地改良区で取り組んでいる。
	接遇について適切に実施されているか。	○	利用者の立場になり対応している
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応している。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に行われている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に行われている。
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に行われている。
	保安警備業務の状況	○	適正に行われている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に行われている。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要



行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)				整理番号		指定6			
指定管理者 導入施設名		小林市東方研修館				所属部・課名		経済建設部 農業振興課	
所在地		小林市東方3317番地1				グループ名		畑かん推進G	
総合計画 との関連	大綱	1 にぎわい				指定管理制度導入年度		平成18年度	
	施策	(1) 農林水産業を振興します				利用料金制の有無		(有)・無	
	方針	3 農家所得の向上				指定管理委託料の有無		(有)・無	
指定管理者名称		東方区自治会				自主事業の有無		有・(無)	
指定期間		令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間)				キックバック条項の有無		有・(無)	
施設の設置目的		東方区域内の農村活性化及び地域住民のコミュニティを図るため。							
指定管理 者が行う 業務内容	基本 事業	① 研修館の利用申請及び許可並びに利用制限に関する業務 ② 研修館の施設及び設備の維持管理に関する業務 ③ 研修館の業務の計画及び実施に関する業務 ④ 研修館の利用料金に関する業務 ⑤ ①～④に掲げるもののほか、研修館の運営に関する事務のうち、市長の権限に属する事務を除く業務							
	自主 事業	なし							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
55,000	10,320	222,560	287,880	228,127	0	0	228,127	59,753	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
55,000	9,000	196,000	260,000	260,000	0	0	260,000	0	
目標状況	成果指標		R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポ イント等)	地域の様々な活動に利用され ている。		
	利用者数	目標	2,500	2,500	2,500				
		実績	2,350	2,290					
		目標							
	実績								

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者 総合評価	利用者は地区の方々が多数であるため利用料による収益は見込めないが、利用者が気持ちよく利用できるよう敷地内の除草や施設内の清掃を行った。
R7年度取り組む 見直し改善点・具 体的な活動内容	今後も、地域交流が活発となるような施設の環境整備を行う。

所管課の総合評価※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地 調査実施状況	聞き取り調査と実地調査にて管理業務の確認を行い、かつ事業報告により運営状況を確認している。
指導事項等及 び改善状況	円滑に運営されている。
指定管理業務 の収支状況	指定管理料等で健全な収支状況である。
自主事業の収 支状況	なし
指定管理者の経 営状態の健全性	経営状態は健全である。
所管課 総合評価	地区住民の利用が中心であり、交流の場及び健康増進の場として利用が多く、施設の運営については問題ないと思われるが、今後地区内の少子高齢化が進むにつれ、利用状況は減少する可能性が高い。 指定管理の代表者が令和7年度から変更となったが、継続して施設の地区移管について協議を行っていく。

## 【小林市東方研修館】モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守されている。
	法令等の遵守はされているか。	○	関係法令は遵守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	役員により適正人員で管理されている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。		該当なし
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に処理されている。
	利用者数・移動率等は適正な水準にあるか。	○	利用者数が昨年より増加している。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	期日内に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。		該当なし
	自主事業の実施状況は適切であるか。		該当なし
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	自治会で取り組んでいる。
	接遇について適切に実施されているか。	○	利用者の立場となり実施している。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	特になし。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	特になし。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に行われている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に行われている。
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に行われている。
	保安警備業務の状況	○	適正に行われている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に行われている。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)								整理番号	指定7
指定管理者導入施設名				小林市バイオマスセンター				所属部・課名	経済建設部畜産課
所在地				小林市北西方7703番地26				グループ名	畜産振興G
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい					指定管理制度導入年度	平成18年度
	施策	(2)	畜産業を振興します					利用料金制の有無	(有)・無
	方針	4	家畜防疫と環境保全					指定管理委託料の有無	(有)・無
指定管理者名称				有限会社小林堆肥センター				自主事業の有無	(有)・無
指定期間				令和2年4月～令和7年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・(無)
施設の設置目的				畜産農家に起因する畜産排せつ物の管理の適正化及び資源循環型社会形成に資するため。					
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① バイオマスセンターの利用の許可に関する業務 ② バイオマスセンターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ③ ①②に掲げるもののほか、バイオマスセンターの運営に関する事務のうち、市長の権限に属する事務を除く業務							
	自主事業	① 一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬、中間処理業 ② 堆肥等の販売							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
1,635,000	20,488,295	0	22,123,295	6,950,059	14,210,248	276,262	21,436,569	686,726	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
2,100,000	24,000,000	0	26,100,000	11,150,000	13,930,000	450,000	25,530,000	570,000	
目標状況	成果指標		R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	緊急性のある、畜ふん処理にも対応出来ており、畜産業と地域の環境保全に貢献出来ている。		
	バイオマス利活用量	目標	8,000	7,500	6,500				
		実績	6,064	5,812					

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	処理工程の効率化を行い、安定して適正な処理を行う事が出来た。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	施設老朽化に伴い、今後も修繕箇所の増加が見込まれ稼働時間確保の為に、大規模な修繕や攪拌機更新を含め、市と協議を行って行きたい

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	業務報告月報の提出。不定期の立入調査を実施。
指導事項等及び改善状況	本年度は事故等もなく、指導事項はなかった。
指定管理業務の収支状況	収支は黒字を継続しているものの、攪拌機修繕による稼働時間減少等により受入量の減少が著しい。
自主事業の収支状況	昨年度と比較し、当期純利益が微増したが、家畜ふんの受入が減少している。物価上昇による経費の上昇にも注意が必要である。
指定管理者の経営状態の健全性	今年度も全体受入量の減少であったが、黒字となった。主な要因は家畜排せつ物の受入量は減少しているものの処理料単価が高い汚泥や残さ他の受入が昨年度と同量程度となったためである。全体的に健全な経営が実施されており、今後も物価上昇が見込まれるが、引き続き、安全面、衛生面を十分考慮した経営を行い、必要に応じ施設への投資(修繕)が必要となる。
所管課総合評価	当センターは、家畜排せつ物のほか、汚泥、残さ、生ゴミの受入を行うことで、市全体として一般廃棄物の焼却コスト削減にも大きく寄与している。受入量については、攪拌機修繕による一時稼働停止や攪拌機負担減の影響もあり、減少傾向にある。施設については、老朽化が進んでおり年々修繕箇所や修繕費用を多く要しており、指定管理者と協議を行い、今後も緊急性及び優先度を考慮しながら計画的に修繕を行う必要がある。

## 【小林市バイオマスセンター】モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	必要に応じて、開業している。
	法令等の順守はされているか。	○	肥取法、廃掃法等の法令に則り業務を行っている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	定年退職者の後任を採用している。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	労基法に基づく就労環境を確保している。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	緊急事態の連絡体制は適切である。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	目標値に近い実績を保っている。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正になされている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	決算報告書で確認できる。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	仕様書に基づき実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	個人情報や産業廃棄物マニフェストの管理は適正である。
	備品は適正に管理されているか。	○	備品の管理についても適正な管理がなされている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	基本協定に基づく締切を守って提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	必要な保険への加入がされている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	毎月末の指定管理状況報告書で確認できる。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組み状況はどうか。	○	利用者に応じた対応が取られている。
	接遇について適切に実施されているか。	○	電話での応対等、教育が行き届いている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	苦情及び、要望等への対応は適切に行われている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	その都度報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正であると認める。
	経理事務は適正に行われているか。	○	税理士による経営管理を行っている。
維持管理	清掃業務の状況	○	場内の清掃は業務終了時に行っている。
	施設、設備の保守管理状況	○	破損等については迅速に修繕等を実施している。
	保安警備業務の状況	○	処理工程の効率化を行い、安定して適正な処理を行う事が出来た。
	環境・衛生管理の実施状況	○	施設老朽化に伴い、今後も修繕箇所が増加が見込まれ稼働時間確保の為に、大規模な修繕や攪拌機更新を検討していきたい。

※評価基準   ○適切に実施   △改善が必要   ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				小林市コスモホール及び生駒高原観光レクリエーションセンター				整理番号	指定8,9
所在地				小林市南西方8565番地12、8565番地41				所属部・課名	経済建設部 商工観光課
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい					指定管理制度導入年度	平成18年度
	施策	(4)	観光産業を振興します					利用料金制の有無	(有)・無
	方針	5	観光施設等の充実					指定管理委託料の有無	(有)・無
指定管理者名称				株式会社NPK				自主事業の有無	(有)・無
指定期間				令和4年4月～令和9年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・(無)
施設の設置目的									
地域の観光振興、市民のレクリエーションの普及及び福祉の向上を図るため。									
指定管理者が行う業務内容	基本事業	①コスモホール等(コスモホール・多目的グラウンド・テニスコート)の利用の許可に関する業務 ②コスモホール等(コスモホール・多目的グラウンド・テニスコート)の施設及び設備の維持管理に関する業務 ③前2号に掲げるもののほか、コスモホール等(コスモホール・多目的グラウンド・テニスコート)の運営に関する事務のうち、市長の権限に属する事務を除く業務							
	自主事業	施設を活用した観光・スポーツイベントの開催(グランドゴルフ大会やキャンプ利用など)							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
4,800,000	1,007,840	304,560	6,112,400	2,406,174	3,974,172	842,908	7,223,254	-1,110,854	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
4,800,000	1,680,000	0	6,480,000	1,820,000	4,660,000	0	6,480,000	0	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	コスモホールを活用したイベント(春まつり、秋まつり)を実施した。また、多目的グラウンドを活用したキャンプ事業も実施している。	
	施設利用者数(コスモホール、多目的グラウンド、テニスコート)	目標	34,000	34,000	34,000				
		実績	13,034	12,618					

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者 総合評価	施設利用については、安心・安全で快適な施設な施設の提供を目指した業務を実施した。特に、老朽化した施設の計画的な修繕の実施、利用者のニーズに対応した施設の改修など小林市との連携を図ることで、利用者の満足度を高めること
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	令和7年度に向けての重点課題 ①施設の維持、修繕への計画的な取り組み 小林市と協議しながら、利用者が安心して快適に利用できるように取り組んでいく。 ②キャンプ場としての利用促進 キャンプ場としての利用促進に向けて、安全性の確保や洗い場等の整備の充足など、利用者が快適に過ごしていただけるように整備していく。 ③コスモホール利用促進 利用者が増加するようイベントなどの企画による集客増を図る。

### 所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	四半期毎にモニタリングを実施し、収入状況や利用者数等の状況把握に努めている。また、施設修繕や利用者の要望等については担当者と連絡を密に取り、現状把握・改善に努めている。
指導事項等及び改善状況	特になし
指定管理業務の収支状況	利用人数及び利用収入については、いずれも前年度よりマイナスとなっており572,506円の赤字となった。
自主事業の収支状況	コスモホールを中心にさまざまなイベントを実施しているが、収入に対し支出の委託料(主にイベント時の音響)が収入を上回っているため538,348円の赤字となった。
指定管理者の経営状態の健全性	決算報告書を確認。適切な収支状況である。
所管課 総合評価	コスモホールを活用したイベント等を開催・実施しているが前年度と比較し利用人数、利用収入ともにマイナスである。令和7年度はどのようにして集客増を図るかが課題となる。 自主事業においては、滞在型観光を展開し、利用度と利用者層の増加を図るために多目的グラウンドを活用したキャンプを実施しており、生駒高原の花のシーズンに合わせた施設利用者の増加や利用する幅広い年齢層のレクリエーション普及・福祉の向上につながっている。 施設の老朽化に伴う修繕については、今後も指定管理者と連携をとりながら計画的に進めていく。また改善すべき点については意見箱などを設置し利用者の声を拾いやすいたため指定管理者と確認を図りながら、問題解決し利用者の利便性向上に努めたい。

【小林市コスモホール及び生駒高原観光レクリエーションセンター】 **モニタリング評価票**

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守されている。
	法令等の順守はされているか。	○	遵守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	配置されている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	確保されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	夜間警備システムあり。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正である。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正である。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	実行されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正である。
	備品は適正に管理されているか。	○	管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	提出している。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適正である。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	適正である。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	利用者サービス向上のため意見箱の設置を行った。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切である。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正である。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正である。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正である。
維持管理	清掃業務の状況	○	職員が毎日清掃している。
	施設、設備の保守管理状況	○	良好である。
	保安警備業務の状況	○	夜間警備システムあり。
	環境・衛生管理の実施状況	○	良好である。

※評価基準 ○適切に実施 △改善が必要 ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者導入施設名				シルバーランド望峰の里(デイサービスセンター)				整理番号	指定10-1
所在地				小林市北西方7125番地				所属部・課名	健康福祉部長寿介護課
総合計画との関連	大綱	2	いきいき					グループ名	自立支援G
	施策	(2)	高齢者を支援します					指定管理制度導入年度	平成18年度
	方針	4	高齢者の社会参加等の促進					利用料金制の有無	(有)・無
指定管理者名称				社会福祉法人 小林市社会福祉協議会				指定管理委託料の有無	有・(無)
指定期間				令和4年5月～令和7年3月 (3年間)				自主事業の有無	(有)・無
施設の設置目的				在宅高齢者の生活を支援するため。				キックバック条項の有無	有・(無)
指定管理者が行う業務内容	基本事業	㊦ デイサービス(介保法(H9年法律第123号)に基づく通所介護及び介護予防通所介護をいう。以下同じ。)に関する業務 ① 施設及び設備の維持管理に関する業務 ② その他高齢者福祉として市長が必要と認める業務							
	自主事業	安心セーフティネット事業、一般介護予防体操教室、訪問栄養改善事業							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	47,422,446	162,406	47,584,852	7,732,762	33,137,343	5,962,650	46,832,755	752,097	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
—	—	—		—	—	—		0	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	関係機関からの利用相談に対し、積極的に受け入れに応じることができた。シナプロゾープログラムや個別機能訓練により機能改善の取り組みを積極的に行うことができた。	
	デイサービス利用件数(件)	目標	7,000	7,000	—				
		実績	6,668	6,124					
	デイサービス実施日数(日)	目標	360	360	—				
実績		359	356						

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	デイサービス事業では、在宅生活を希望される方に寄り添った支援を行うことができた。また、一般介護予防体操教室や訪問栄養改善事業など総合事業関連の事業にも積極的に取り組むことができた。 相談支援については、安心セーフティネット事業など、必要に応じた相談支援を実施することができた。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	

所管課の総合評価※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング及び実地調査実施状況	基本協定書による業務報告書のほか、適時運営に関して、管理者へのヒアリングや資料の提供等を求め、提案書及び仕様書に基づき事業を実施できるよう意思疎通を図った。
指導事項等及び改善状況	高齢者の自立支援や交流の場所として、運営の工夫を図りつつ概ね適正な運営が行われた。
指定管理業務の収支状況	一般介護予防体操教室や訪問栄養改善事業など総合事業関連の取り組みにより、昨年度と比較して収益の改善が見られた。
自主事業の収支状況	料理教室のほか、一般介護予防事業に積極的に取り組まれた。
指定管理者の経営状態の健全性	法人の財務諸表等を確認し、社会福祉法人として安定的な経営が行われている。
所管課総合評価	ICT機器の導入を図りながら、事業に取り組むなど、改善や創意工夫が見られた。 令和7年度以降は、当該施設の移譲に伴い、社会福祉協議会が自主運営を行っていくことになるが、指定管理事業と同様、現在行われている利用者に応じた効果的な介護サービスの提供を通して、自立支援を推進する観点で地域の介護予防への貢献が期待される。

## 【シルバーランド望峰の里(デイサービスセンター)】モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守している。
	法令等の遵守はされているか。	○	介護関係の法令等に基づき運営している。
	適正な人員配置はなされているか。	○	配置基準に基づき適正な人員が配置されている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	就業規則に基づき管理されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	緊急管理体制や事故対応等の緊急時の体制は確保されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	定員に対して適正な水準である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	介護度に応じて適正に利用されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	介護報酬・利用者負担金等は適切に管理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	設置条例、基本協定に応じて適切に運営されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	個人情報管理は適切である。
	備品は適正に管理されているか。	○	基本協定書に基づき適切に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	理事会の承認を得ている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	保険に関しては、付保している。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	利用者のニーズに対応している。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	利用者のニーズに対応している。
	接遇について適切に実施されているか。	○	利用者に丁寧に接している。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適切に対応している。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	市と連携して対応している。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に管理されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	介護報酬が収入であり適切である。
維持管理	清掃業務の状況	○	衛生には常に配慮している。
	施設、設備の保守管理状況	○	各種保守点検等の実施を行い、適切に管理されている。
	保安警備業務の状況	○	不審者への対策等防犯体制が確保されている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	環境・衛生には常に配慮している。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要



# 行政評価事務事業【指定管理者導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(P)～実施(D)

指定管理者導入施設名				シルバーランド望峰の里（高齢者給食センター）				整理番号	指定10-2
所在地				小林市北西方7125番地1				所属部・課名	健康福祉部長寿介護課
総合計画との関連	大綱	2	いきいき					指定管理制度導入年度	平成18年度
	施策	(2)	高齢者を支援します					利用料金制の有無	(有)・無
	方針	4	高齢者の社会参加等の促進					指定管理委託料の有無	(有)・無
指定管理者名称				社会福祉法人 小林市社会福祉協議会				自主事業の有無	(有)・無
指定期間				令和4年5月～令和7年3月（3年間）				キックバック条項の有無	有・(無)
施設の設置目的				在宅高齢者の生活を支援するため。					
指定管理者が行う業務内容	基本事業	㊦ 高齢者、障がい者等に対する食事の支援に関する業務 ㊧ 施設及び設備の維持管理に関する業務 ㊨ その他高齢者、障がい者等の福祉のため市長が必要と認める業務							
	自主事業	健康延伸配食事業							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
24,000,880	9,990,400	4,882,329	38,873,609	12,207,989	19,189,037	12,798,289	44,195,315	-5,321,706	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
—	—	—	0	—	—	—	0	0	
目標状況	成果指標		R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果(アピールポイント等) 高齢者等の利用者の健康維持、健康管理及び一人暮らしの高齢者の安否確認も行って、在宅生活の支援に取り組んでいる。			
	給食利用件数(件)	目標	60,000	25,200	—				
		実績	41,844	28,632					
	1日平均利用者数(人)	目標	165	70	—				
実績		116	79.9						

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	年末年始を除いて稼働しており、高齢者、障がい者等への食事の支援を担うことができた。職員ミーティングや利用者アンケートを行い、利用者のニーズに応じた改善を図っている。また、緊急時に備え、その対応に係る訓練を実施している。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	

所管課の総合評価※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング及び実地調査実施状況	基本協定書による業務報告書のほか、適時運営に関して、管理者へのヒアリングや資料の提供等を求め、提案書及び仕様書に基づき事業を実施できるよう意思疎通を図っている。
指導事項等及び改善状況	自立支援の視点を重視しながら、地域社会のセーフティネットとしての機能を維持してきた。
指定管理業務の収支状況	経費削減に継続して取り組まれたが、食材や燃料等の物価高騰の影響があった。
自主事業の収支状況	利用者数が減少していることから経費削減に継続して取り組まれたが、食材や燃料等の物価高騰の影響があった。
指定管理者の経営状態の健全性	法人の財務諸表等を確認し、社会福祉法人として安定的な経営が行われている。
所管課総合評価	令和6年度末をもって、同施設での高齢者等訪問給食サービスが終了した。スムーズな利用者の移行のために、民間委託事業者への引継に主体性をもって積極的に取り組まれた。

## 【シルバーランド望峰の里（高齢者給食センター）】モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守している。
	法令等の遵守はされているか。	○	関係法令等に基づき運営している。
	適正な人員配置はなされているか。	○	配置基準に基づき適正な人員が配置されている。
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。	○	就業規則に基づき管理されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	緊急管理体制等の体制が確保されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	アセスメントにより、減少している。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	アセスメントにより、適正に行われている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	利用者負担金は適切に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	条例、基本協定に基づき適切に運営されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	個人情報管理は適切である。
	備品は適正に管理されているか。	○	基本協定書に基づき適切に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	理事会の承認を得ている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	保険に関しては、付保している。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	食数に限度があるが適切に実施している。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	安否確認にも取り組んでいる。
	接遇について適切に実施されているか。	○	利用者に丁寧に接している。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適切に対応している。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	市と連携して対応している。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に管理されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に管理されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	衛生には常に配慮している。
	施設、設備の保守管理状況	○	必要な各種保守点検等を実施している。
	保安警備業務の状況	○	不審者への対策等防犯体制が確保されている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	感染症対策も講じ、常に配慮している。

※評価基準 ○適切に実施 △改善が必要 ×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)							整理番号	指定10-3	
指定管理者導入施設名		シルバーランド望峰の里（西部いろり村）					所属部・課名	健康福祉部長寿介護課	
所在地		小林市北西方7125番地1					グループ名	自立支援G	
総合計画との関連	大綱	2	いきいき				指定管理制度導入年度	平成18年度	
	施策	(2)	高齢者を支援します				利用料金制の有無	(有)・無	
	方針	4	高齢者の社会参加等の促進				指定管理委託料の有無	(有)・無	
指定管理者名称		社会福祉法人 小林市社会福祉協議会					自主事業の有無	(有)・無	
指定期間		令和4年5月～令和7年3月（3年間）					キックバック条項の有無	有・(無)	
施設の設置目的		在宅高齢者の生活を支援するため。							
指定管理者が行う業務内容	基本事業	⑦ 施設及び設備の維持管理に関する業務 ⑧ 高齢者等の健康づくりと生きがいを図るための利用に関する業務 ⑨ 世代間交流や農村文化の伝承活動等、地域福祉を推進するための利用に関する業務 ⑩ ⑧及び⑨の利用に支障のない範囲でのその他の利用に関する業務							
	自主事業	望峰クラブ							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
279,391	0	155	279,546	0	0	361,952	361,952	-82,406	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
—	—	—	0	—	—	—	0	0	
目標状況	成果指標		R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	陶芸サロンや料理教室、介護予防体操教室の開催場所として、地域住民の生きがいを図るの場として活用することができた。		
	いろり村利用件数(件)	目標	60	60	—				
		実績	56	52					
	いろり村利用延べ人数(人)	目標	400	600	—				
実績		607	586						

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	地域交流の場として、陶芸サロンへの貸し出し、料理教室や介護予防教室の開催場所として施設を活用することができた。施設及び設備の維持管理も適切に行うことができた。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	

所管課の総合評価※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング及び実地調査実施状況	基本協定書による業務報告書のほか、適時運営に関して、管理者へのヒアリングや資料の提供等を求め、提案書及び仕様書に基づき事業を実施できるよう意思疎通を図った。
指導事項等及び改善状況	高齢者の自立支援や交流の場所として、運営の工夫を図りつつ概ね適正な運営が行われていた。
指定管理業務の収支状況	収支のバランスは取れていた。
自主事業の収支状況	該当なし
指定管理者の経営状態の健全性	法人の財務諸表等を確認し、社会福祉法人として安定的な経営が行われている。
所管課総合評価	併設されるデイサービスとの連携のもと、健康づくり生きがいを図るの場として活用された。令和7年度以降は、当該施設の移譲に伴い、社会福祉協議会が自主運営を行っていくことになるが、指定管理事業と同様、現在行われている利用者に応じた効果的なサービスの提供を通して、自立支援を推進する観点で地域の介護予防への貢献が期待される。

## 【シルバーランド望峰の里(西部いろり村)】モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守している。
	法令等の遵守はされているか。	○	設置条例等に基づき運営している。
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正な人員が配置されている。
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。	○	就業規則に基づき管理されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	緊急管理体制や事故対応等の緊急時の体制は確保されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に利用されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適切に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	設置条例、基本協定に応じて適切に運営されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	個人情報管理は適切である。
	備品は適正に管理されているか。	○	基本協定書に基づき適切に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	理事会の承認を得ている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	保険に関しては、付保している。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	適切に実施出来ている。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適切に実施出来ている。
	接遇について適切に実施されているか。	○	利用者に丁寧に接している。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適切に対応している。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	市と連携して対応している。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	経理については、適正に管理されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適切である。
維持管理	清掃業務の状況	○	適切である。
	施設、設備の保守管理状況	○	各種保守点検等の実施を行い、適切に管理されている。
	保安警備業務の状況	○	不審者への対策等防犯体制が確保されている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	適切である。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)								整理番号	指定11
指定管理者制度導入施設名				小林市シルバーワークプラザ				所属部・課名	健康福祉部 長寿介護課
所在地				小林市細野2239番地1				グループ名	自立支援G
総合計画との関連	大綱	2	いきいき	指定管理制度導入年度				平成18年度	
	施策	(2)	高齢者を支援します	利用料金制の有無				(有)・無	
	方針	4	高齢者の社会参加等の促進	指定管理委託料の有無				有・無	
指定管理者名称				公益社団法人 小林市シルバー人材センター				自主事業の有無	有・無
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間)				キックバック条項の有無	有・無
施設の設置目的									
高齢者等の働く拠点として作業、研修、会議等の用に供するため。									
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① ワークプラザの利用の許可に関する業務 ② ワークプラザの施設及び設備の維持管理に関する業務 ③ ①②に掲げるもののほか、ワークプラザの運営に関する事務のうち、市長の権限に属する事務を除く業務							
	自主事業	該当なし							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	4,755	852,524	857,279	0	0	857,279	857,279	0	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	20,000	980,000	1,000,000	0	0	1,000,000	1,000,000	0	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	高齢者等の就業機会の提供、社会貢献活動の拠点としての運営に努めながら、必要に応じて地域住民向けの施設として貸し出している。	
	会議室利用件数(日)	目標	370	370	150				
		実績	143	68					
	訓練作業等利用件数(日)	目標	250	250	150				
		実績	59	69					

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	令和6年度、住民からの貸し出し要請は2件であった。 施設の状態は、軒部分の雨漏りや屋根瓦の剥がれなどが見受けられるようになった。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	市民に開かれた施設となるようセンターホームページ等を活用したPRに努め、利用者増を図ることとする。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	基本協定書による業務報告書の提出を受けるほか、必要に応じ実地調査及び指定管理者へのヒアリングを実施している。
指導事項等及び改善状況	会員を中心に利用を周知し、利用者の増につなげる。
指定管理業務の収支状況	指定管理業務に関しては、条例に基づく会議室使用料の収入がある。なお、運営に要する特定財源があることから、それを活用した業務運営がなされている。
自主事業の収支状況	該当なし
指定管理者の経営状態の健全性	法人の財務諸表等を確認し、安定かつ健全な経営が行われている。指定管理者は、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、高齢者の就業の適正化、就業機会の公平化を推進している。運営に係る特定財源がある現時点においては安定的な運営が可能な経営状態にあると判断できるが、今後の社会情勢を鑑み、自主事業の取組みの模索等収入の確保に努める必要がある。
所管課総合評価	概ね適正な運営体制が図れている。今後の課題として、会員数が減少している現状について、拡大の取組の工夫が必要と考える。

## 【小林市シルバーワークプラザ】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	条例のとおり実施している。
	法令等の順守はされているか。	○	条例その他法令等を遵守している。
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正な人員配置がなされている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	適切な労働環境となっている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	緊急管理体制や事故対応等の緊急時の体制は確保されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	△	総体的な利用は問題ないが、一般の利用が少ない。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	指定管理者の職員により受付・貸出を適切に行っている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	設置条例、基本協定どおり適切に管理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	設置条例、基本協定に応じて適切に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	利用者の個人情報は保管庫にて適切に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	基本協定書に基づき適切に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	協定どおり提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	協定どおり保険加入している。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		該当なし
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	△	地域住民に向けた広報活動の工夫を図る。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切に対応している。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適切に対応している。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	内容によっては市と連携して対応している。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	利用料の収受等適正に行われている。
維持管理	清掃業務の状況	○	定期的に清掃業務を行っている。
	施設、設備の保守管理状況	△	一部破損しており、修繕が必要な箇所がある。
	保安警備業務の状況	○	夜間の機械警備は実施していないが、職員が帰宅の際施設等の確認をしている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	施設環境整備は適切に行われている。

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要



行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)							整理番号	指定12	
指定管理者制度導入施設名		小林市養護老人ホーム慈敬園					所属部・課名	健康福祉部長寿介護課	
所在地		小林市駅南296番地					グループ名	自立支援グループ	
総合計画との関連	大綱	2 助け合いともに生きる生涯現役のまち					指定管理制度導入年度	平成18年度	
	施策	3 高齢者福祉・介護の充実					利用料金制の有無	(有)・無	
	方針	3 高齢者福祉サービスの充実					指定管理委託料の有無	(有)・無	
指定管理者名称		社会福祉法人 コスモス会					自主事業の有無	有・(無)	
指定期間		令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )					キックバック条項の有無	有・(無)	
施設の設置目的		高齢者等が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行う。							
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 老人ホームに入所している者の養護及び日常生活の自立支援に関する業務 ② 介護保険法(平成9年法律第123号)に基づく短期入所生活介護、訪問介護、介護予防訪問介護、特定施設入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護に関する業務 ③ 老人ホームの施設及び設備の維持管理に関する業務 ④ その他、慈敬園の運営に関して市長が必要と認める業務							
	自主事業	該当なし							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
2,700,000	4,020,176	138,306,346	145,026,522	58,847,884	85,696,641	7,543,164	152,087,689	-7,061,167	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
2,650,650	6,997,000	127,485,000	137,132,650	53,565,560	81,318,000	1,950,000	136,833,560	299,090	
目標状況	成果指標		R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果(アピールポイント等)	○軽度化(重度の要介護者の特養等への住替え)を進め、より自立支援と健康寿命の継続性の維持に必要な取り組みを強化。 ○面会や外出等、地域の感染症状況等常に確認しつつ可能な範囲内で制限緩和を図り自由度が拡大。面会者数及び個別外出頻度も増加。		
	入所者数	目標	50	50	50				
		実績	47.8	47.8					
	入所率	目標	100	100	100				
実績		95.5	95.6						

評価(Check)～改善(Action)  
指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	・令和6年度、新規入居16名。退所15名(死亡退所4名、住替え退所11名)。軽度化(重度の要介護者の特養等への住替え)を継続中。 ・軽度化と共に自立度が上がり転倒リスク増。運動と栄養に重点をおき、生活動作維持を図り、活動参加を促している。 ・「看取りケア」を行う一方、退院時に医師から回復の見込困難とされ看取りケアへ移行も、その後献身的なケアにより、入院前の生活にまで回復。「生きる力」を延ばせた事に、関係者皆で喜びを感じた事例もあった。今後も職員一同寄添い、献身的にケアを行っていく。 ・職員の人員体制不備にて、令和7年1月より訪問介護を休止。人員体制が整い次第事業再開予定。 ・感染症対策に伴い面会や外出は一部制限持続。地域等の感染症状況を確し可能な範囲で制限緩和。「ゆっくり外出」「部屋で面会」でき、コロナ禍以前の姿にまた一歩近づいていると実感。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	①健康寿命の延伸:自立支援の基本(4つのケア=水分・栄養・運動・排泄)において、個別や集団での取り組みを強化。口腔ケアの徹底。 ②QOLの向上:リフレッシュや心身機能の維持・向上・活性化を図り、個別対応あるいはレクリエーションや行事等計画。 ③ACPを記録し、意思表示困難となった際「今」の気持ちを継続的に把握、関係者に伝達できる体制の充実 ④働きやすい職場づくり:職員間のチーム力を高め、ポジティブ思考で働ける職場環境作り、5S活動継続、業務効率化(ICT導入・運用) ⑤安定した経営への取り組み:稼働率アップを図る。(入院者の減少を目指す、市と連携し、安定した待機者確保に努める)

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	基本協定書による業務報告書のほか、適時運営に関して、管理者へのヒアリングや資料の提供等を求め、提案書及び仕様書に基づき事業を実施できるよう意思疎通を図っている。
指導事項等及び改善状況	入居者に寄り添った事業運営を行っている。引き続き入居者が満足する施設運営を求めるものとする。
指定管理業務の収支状況	物価や光熱水費が高騰していることから、今年度の収支がマイナスとなっている。今後、ZEB事業に取り組みながら光熱水費の縮減に向けた対応を求める。
自主事業の収支状況	該当なし
指定管理者の経営状態の健全性	法人の財務諸表等を確認し、社会福祉法人として現時点では長期的な経営が見込まれる。光熱水費が高騰している状況について、ZEB事業への取り組みで縮減に向けた対応を求める。
所管課総合評価	入居者のニーズに対応できる体制が整備されており、安定的・継続的なサービスを提供できている。今後も自助努力も踏まえた効率的な経営を図りつつ、入所者満足度の高いサービスの提供が維持できるよう進めて行く必要がある。

## 【小林市養護老人ホーム慈敬園】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	養護老人ホームの協定書等に従い遵守している。
	法令等の順守はされているか。	○	老人福祉法及び介護保険法等の法令に基づき運営している。
	適正な人員配置はなされているか。	○	人員配置について、毎月勤務表にて確認している。
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。	○	就業規則及び労使協定に基づき管理されている。産休育休の取得実績もあり。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	オンコール体制表、事故対応・防災対策・BCP等マニュアルを整備し、それに従い対応している。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	入所率目標100%に対し実績は95.6%であった。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に申請し、許可を得ている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	介護報酬・利用者負担金等は適切に管理している。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	設置条例、基本協定に応じて適切に運営している。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	個人情報保護規程に基づき、適切に管理している。
	備品は適正に管理されているか。	○	基本協定書に基づき、備品台帳にて適切に管理している。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	理事会の承認を得て提出している。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	保険に関しては、付保している。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	△	該当なし
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組み状況はどうか。	○	入居者個々の状況に応じた必要な支援について、適宜確認し、本人・家族の意向に沿った支援を実施している。
	接遇について適切に実施されているか。	○	接遇に関し集団研修及び個別指導を実施している。又、人権・虐待について定期的に研修を行い、日頃より入居者への接遇に留意している。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	マニュアルの整備及び勉強会を実施している。必要に応じて会議を開催している。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	発生時に報告書により報告している。内容によっては市と連携して対応している。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	経理規程に準じ対応している。監事監査の実施、理事会及び評議員会にて定期的に報告している。
	経理事務は適正に行われているか。	○	会計事務所によるチェック体制あり。監事により定期監査の実施体制あり。
維持管理	清掃業務の状況	○	定期的(不潔傾向の箇所はこまめ)に清掃・消毒を実施している。同時にニオイやケガ等の危険性など考慮した対応も行っている。
	施設、設備の保守管理状況	○	各種保守点検等の専門業者が実施している。職員で対応可能な範囲は修繕等を行いコスト削減を図っている。
	保安警備業務の状況	○	営業時間外は退社時に施錠や閉門の役割を明確にし、保安警備体制を整備している。放火等に備え、燃えやすい物を建物周辺に置かないなどの対応をしている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	地域環境、労災事故、避難通路確保、感染症予防、食品衛生などの観点により実施している。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要



**行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票**  
**令和6年度事務事業事後評価及び改善計画**

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				小林市中央児童センター・小林市西小林児童センター				整理番号	指定13.14	
所在地				小林市細野385番地1・小林市北西方1244番地4				所属部・課名	健康福祉部 こども課	
総合計画との関連	大綱	2	いきいき					グループ名	こども相談グループ	
	施策	(4)	子ども・子育てを応援します					指定管理制度導入年度	平成21年4月	
	方針	3	子育て支援機能の充実					利用料金制の有無	有 (無)	
								指定管理委託料の有無	(有) 無	
指定管理者名称				特定非営利活動法人 小林子育て支援協会				自主事業の有無	有 (無)	
指定期間				令和4年4月から令和7年3月まで ( 3 年間 )				キックバック条項の有無	有 (無)	
施設の設置目的										
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。										
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 健全な遊びを通じた児童の集団的及び個別的な指導の実施並びに中学生、高校生等の年長児童の自主的な活動に対する支援に関すること。 ② 子供会、地域活動クラブ等の児童に関する地域組織の育成助長及びその指導者の養成に関すること。 ③ 子育てに対して不安や悩みを抱える保護者からの相談に応じるなど、子育て家庭の支援に関すること。 ④ 地域に関わる児童の健全育成に必要な活動に関すること。 ⑤ 利用の許可、利用許可の取消し、利用の制限、原状回復に関すること。 ⑥ 維持管理及び修繕に関すること。 ⑦ 指定管理者が行った処分等に対する苦情及び訴訟に関すること。 ⑧ 児童センターの目的外使用に係る申請書等の受領等に関すること。 ⑨ ①～⑧に掲げるもののほか、必要と認める事業及び業務。								
	自主事業	該当なし。								
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)		
9,650,000	0	811	9,650,811	1,706,736	7,896,973	46,183	9,649,892	919		
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)		
			0				0	0		
目標状況	成果指標		R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	利用者数の回復を目指して各種行事や取り組みを継続的に実施したが、年間利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復が限定的であり、施設機能の在り方や地域ニーズの変化が利用状況にも反映された一年であった。			
	開館日数	目標	297	238						
		実績	295	234						
	年間延べ利用者数	目標	5,000	6,000						
実績		7,121	6,446							

評価(Check)～改善(Action)

**指定管理者による自己評価**

指定管理者 総合評価	指定管理最終年度として、児童厚生施設としての役割を丁寧に果たすとともに、次年度以降の地域施設への転換に向けた準備を進めた。条例改正を活用した利用範囲の拡大や、地域団体との連携体制構築への試行的な取り組みを行った。今後は、指定管理ではなく業務委託という形で継続的に施設運営に携わることにより、より柔軟に多世代交流・健康づくりの事業に取り組んでいく体制を整えている。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	指定管理終了を受け、市の業務委託による運営へと移行。児童厚生施設から地域交流・健康づくりを目的とした地域施設へ機能転換するにあたり、全世代対応の運営体制と事業内容の再構築を行う。

**所管課の総合評価** ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	月次報告書の提出、現地調査、ヒアリングを通じて、運営状況や事業内容の確認を継続的に実施。指定管理の終了に向けた整理状況も適切に管理されていた。
指導事項等及び改善状況	該当なし。
指定管理業務の収支状況	指定管理委託料が収入の大部分を占めており、財務面では適切に運営されている。
自主事業の収支状況	該当なし。
指定管理者の経営状態の健全性	特定非営利活動法人小林子育て支援協会は、児童センター以外にも複数の子育て支援事業を受託しており、地域福祉の安定した運営に貢献している。令和7年度以降の施設活用においても、引き続きその柔軟性と実績が期待される。
所管課 総合評価	令和6年度は、指定管理による運営の最終年度であり、令和7年度からの業務委託へのスムーズな移行を見据えた重要な1年となった。地域のニーズを踏まえた柔軟な運営と、転換に向けた準備が進められた点は評価できる。 特に、令和7年度からの業務委託の軸となる「こどもの居場所づくり」という観点では、安心して過ごせる環境の確保や、遊びや体験活動を通じたこども同士の交流の場が継続的に提供されており、その実績は高く評価できる。保護者との丁寧な関わりや、見守り体制の充実なども、地域の中での第三の居場所としての機能を十分に果たしていた。 以上の点を踏まえ、令和6年度の運営は、制度移行に向けた準備を的確に進めつつ、地域ニーズに寄り添った運営がなされており、総じて良好であったと評価する。

## 【小林市中央児童センター】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	協定書に基づき、定められた開館時間・休館日を遵守している。
	法令等の順守はされているか。	○	関係法令に基づく適正な運営がなされている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	児童クラブ等からの応援体制を含め、必要な人員体制が確保されている。
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。	○	労働基準法等を踏まえた勤務体制が整備されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	防災・防犯マニュアルを整備。大きな事故なく、盗難対策も実施。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	△	利用者数の減少が続いたため、多世代交流施設へと転換された。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	個人・団体利用に応じた記録・管理が行われている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	利用料は無く、行事時の実費徴収は適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	協定書・事業計画に則り、基本事業を実施している。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	個人情報は鍵付き保管庫にて管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	修繕・更新対応、不要備品の整理等、適切に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	提出期限を守り、遅滞なく処理されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	傷害保険等に年度ごとに適正に加入している。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		自主事業は実施していない。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	△	季節行事、近隣クラブとの連携等を実施も、利用促進に限界があり、施設の役割を見直した。
	接遇について適切に実施されているか。	○	来館者への対応は丁寧で、適切に行われている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	苦情はなし。情報共有体制が構築されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	苦情はなし。情報共有体制が構築されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	収支計画に沿って運用されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	実績報告の提出もあり、適切に処理されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	施設内外の清掃・消毒を実施している。
	施設、設備の保守管理状況	○	屋外遊具やおもちゃ等も含め、日常的に点検・保守されている。
	保安警備業務の状況	○	警備会社と契約。年1回の点検も実施済み。
	環境・衛生管理の実施状況	○	衛生管理は引き続き徹底。感染症対策も継続。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

## 【小林市西小林児童センター】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	協定書に基づき、定められた開館時間・休館日を遵守している。
	法令等の順守はされているか。	○	関係法令に基づく適正な運営がなされている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	児童クラブ等からの応援体制を含め、必要な人員体制が確保されている。
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。	○	労働基準法等を踏まえた勤務体制が整備されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	防災・防犯マニュアルを整備。緊急連絡網も構築済み。大きな事故の発生なし。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	△	利用者数の減少が続いたため、令和7年度から多世代交流施設へと転換された。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	個人・団体利用に応じた記録・管理が行われている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	利用料は無く、行事時の実費徴収は適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	協定書・事業計画に則り、基本事業を実施している。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	個人情報は鍵付き保管庫にて管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	修繕・更新対応、不要備品の整理等、適切に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	提出期限を守り、遅滞なく処理されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	傷害保険等に年度ごとに適正に加入している。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		自主事業は実施していない。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	△	地域特性を活かした行事を実施も、利用促進に限界があったため、施設の役割を見直した。
	接遇について適切に実施されているか。	○	来館者への対応は丁寧で、適切に行われている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	苦情はなし。情報共有体制が構築されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	苦情はなし。情報共有体制が構築されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	収支計画に沿って運用されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	実績報告の提出もあり、適切に処理されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	施設内外の清掃・消毒を実施している。
	施設、設備の保守管理状況	○	屋外遊具やおもちゃ等も含め、日常的に点検・保守されている。
	保安警備業務の状況	○	警備会社と契約。年1回の点検も実施済み。
	環境・衛生管理の実施状況	○	衛生管理は引き続き徹底。感染症対策も継続。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				須木農産物加工場				整理番号		指定15	
所在地				小林市須木下田985番地				所属部・課名		須木庁舎 地域振興課	
総合計画との関連	大綱	1 にぎわい						グループ名		営農G	
	施策	(1) 農林水産業を振興します						指定管理制度導入年度		平成18年度	
	方針	3 農家所得の向上						利用料金制の有無		有・ <del>無</del>	
指定管理者名称				農業生産法人(有)すき特産				指定管理委託料の有無		有・ <del>無</del>	
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				自主事業の有無		<del>有</del> ・無	
施設の設置目的				農林産物の有効活用を図り、食品加工研究、開発及び販売を促進し、地域特産物の振興並びに農家所得の向上を図る。							
指定管理者が行う業務内容	基本事業	須木農産物加工場の施設及び設備の維持管理、業務の計画及び実施。利用の許可及び制限。これらの業務に付随する業務。									
	自主事業	須木農産物加工場の目的に合致し、かつ、管理業務の実施を妨げない範囲において、自らの責任と費用により施設を活用し独自に企画及び計画した事業。									
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	0	183,967,618	183,967,618	26,954,051	40,887,235	84,522,954	152,364,240	31,603,378			
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	0	200,000,000	200,000,000	50,000,000	50,000,000	100,000,000	200,000,000	0			
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地元産の農産物を優先的に買い入れ、加工して付加価値をつけて販売することで、地元生産農家の所得向上のみならず、地域振興に寄与している。			
	栗の加工量(t)	目標	60	40	40						
		実績	7	23							
	柚子の加工量(t)	目標	250	250	250						
		実績	300	150							

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	須木農産物加工場の施設及び設備の維持管理業務の計画及びそれにかかる業務を実施している。施設内外の美化に努め安全で安心の加工品づくりを目指しており、市からの指導や助言に対しても迅速に対応を行っている。 今後も地元農林産物の有効活用を図り、食品加工研究、開発及び販売を促進し、地域振興に寄与していく。
R7年度取り組み直し改善点・具体的な活動内容	積極的に地元産の農林産物を買入れ、加工による付加価値をつけて販売するなどして地元に貢献していく。また、インターネットやSNSの有効活用、イベントや商談等への積極的な参加により、商品だけではなく小林市の情報発信も積極的に行っていく。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	普段から指定管理者とは密に連絡を取り合っており、モニタリング項目の確認や今後の事業計画等の協議、工場内の状況確認など適切な対応を行っている。
指導事項等及び改善状況	食品を取り扱う施設として適切な食品衛生管理と注意喚起を行っている。老朽化が進む施設ではあるが、修繕や改善等迅速に協議・対応している。
指定管理業務の収支状況	基本事業における指定管理料の支出はなく、自主経費のみで指定管理業務運営を行っている。
自主事業の収支状況	自主事業としては、加工品を店舗やインターネットで直営販売している。また、物産展やイベント、商談などにも積極的に参加し全国各地で高評価を得ている。自主事業の収支状況についても問題はないと思われる。
指定管理者の経営状態の健全性	決算報告書や聞き取り等により、経営状態は健全であると判断する。
所管課総合評価	基本事業については、良好に業務が遂行されている。 自主事業に関しても健全な経営がなされており、所管課として今後も適宜、支援を図るなど適切な管理をお願いしていく。老朽化した施設等については迅速に協議を進め対応を検討していく。

## 【須木農産物加工場】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	業務仕様書に基づき適切に運営されている。
	法令等の順守はされているか。	○	業務仕様書及び各法令等の遵守がなされている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	法令等に基づく必要な資格又は知識を有する職員が適切に配置されている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	法令を遵守した労働時間・休憩時間となっている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適切な連絡・報告体制が図られている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正である。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	利用料金及び使用料の徴収なし。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	協定書及び仕様書に基づき適切に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正である。
	備品は適正に管理されているか。	○	協定書に基づき適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	概ね良好である。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切である。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	適切である。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組み状況はどうか。	○	適切である。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切である。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適切である。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	協定書に基づき適正に対応されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正である。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正である。
維持管理	清掃業務の状況	○	定期的に適切な管理がなされている。
	施設、設備の保守管理状況	○	定期的に適切な管理がなされている。
	保安警備業務の状況	○	適切な管理がなされている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	環境・衛生管理上に問題はなく、改善事項等に対しても迅速に対応されている。

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)								整理番号	指定16,17
指定管理者制度導入施設名				須木診療所及び内山へき地診療所				所属部・課名	須木庁舎 住民生活課
所在地				小林市須木下田1224番地				グループ名	住民生活グループ
総合計画との関連	大綱	2	いきいき					指定管理制度導入年度	平成18年度
	施策	(5)	地域医療の体制の確保に取り組みます					利用料金制の有無	(有)・無
	方針	3	地域医療を守り・育てる市民活動の推進					指定管理委託料の有無	(有)・無
指定管理者名称				医療法人相愛会 理事長 桑原 健悟				自主事業の有無	有・(無)
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・(無)
施設の設置目的									
須木地域の保健衛生及び福祉推進のため、医療及び介護サービスを行い、あわせて公衆衛生の向上に寄与する。									
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 診療及び健康診断に関する業務 ② 調剤及び製剤に関する業務 ③ 健康相談に関する業務 ④ 診療所の施設及び設備の維持管理に関する業務 ⑤ 介護保険法に基づく通所リハビリテーション及び介護予防通所リハビリテーションに関する業務							
	自主事業	なし							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
3,358,000	99,709,377	304,067	103,371,444	49,168,150	58,278,919	0	107,447,069	-4,075,625	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
3,358,000	100,531,000	0	103,889,000	44,899,000	60,811,000	0	105,710,000	-1,821,000	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	各種健診・予防接種を行い健康増進、疾病の早期発見と予防に取り組み、後発医薬品の取り入れで患者の負担軽減を図った。桑原記念病院や他高度医療機関との連携を図り、患者に寄り添い要望に応えている。訪問診療では、患者のニーズに合った診療を心掛けた。通所リハビリでは、在宅維持向上のため、リハビリ・行事やクラブ活動を行い、一日楽しく過ごしてもらった。	
	診療所患者数	目標	7,800	7,800					
		実績	8,477	8,192					
	へき地診療所患者数	目標	40	40					
実績		55	49						

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者 総合評価	管理運営にあたっては協定書の内容に基づき、適切に業務を遂行することができた。各種健診の受け入れや鍼灸治療を行い健康増進、疾病の早期発見・予防に取り組んだ。また医療体制の充実、職員の知識・技術の向上を図り、患者の満足度向上に努めた。通所リハビリ利用者数は、新規の利用者はいるものの入院や入所の方も多く、横ばい状態だった。リハビリや行事等を行い、利用者受け入れ数を増やしていきたい。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	感染を出さないよう清掃消毒をしっかりと行い、職員の健康管理にも務めながら業務を遂行していく。患者負担軽減のため、積極的に後発医薬品の取り入れ、変更を行っていく。通所リハビリの利用者受け入れを増やしつつ、あわせて職員の介護負担軽減を図りながら業務を行っていく。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	定期的に訪問し、施設の管理状況について確認を行うとともに利用者数、運営状況についても聴取した。
指導事項等及び改善状況	指導事項はなく、適正に運営されている。
指定管理業務の収支状況	令和6年度は、外来収益減少に加え診療材料、給食材料支出が膨らみ、収支状況が悪化した。
自主事業の収支状況	なし
指定管理者の経営状態の健全性	須木診療所単体では収支が悪化したものの、法人としての経営状態はなお健全であり、須木診療所に勤務する職員の処遇改善にも取り組んでいる。
所管課 総合評価	適正な運営が行われている。令和6年度は内視鏡検査システムを更新しており、病巣の早期発見や健診事業での使用が期待される。

## 【須木診療所及び内山へき地診療所】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守されている
	法令等の順守はされているか。	○	遵守されている
	適正な人員配置はなされているか。	○	なされている
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。	○	確保されている
	緊急事態の対応がとれているか。	○	防火訓練、災害訓練を行っている
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	人口減少が影響していると思われるが減少傾向
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	△	利用申請・許可なし
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	△	利用申請・許可なし
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	実施されている
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に行われている
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に行われている
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	事前に報告書提出期限延長の申し出あり
	保険の加入状況は適切であるか。	○	法人で加入している
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	患者に対し健康診査受検、予防接種について積極的に勧奨を行っている
	接遇について適切に実施されているか。	○	年1回、法人全体で接遇研修を行っている
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	苦情受付BOXを置いている。直接の苦情はなかった
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	報告はなく、市への苦情申し立てもなかった
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に行われている
維持管理	清掃業務の状況	○	清掃・消毒担当職員を1名配置している
	施設、設備の保守管理状況	○	良好である
	保安警備業務の状況	○	良好である。委託業者からの指摘もなし
	環境・衛生管理の実施状況	○	清掃消毒が徹底されている

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要

## 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				須木歯科診療所				整理番号		指定18			
所在地				小林市須木中原1741番地1				所属部・課名		須木庁舎 住民生活課			
総合計画との関連	大綱	2	いきいき					指定管理制度導入年度		平成18年度			
	施策	(5)	地域医療の体制の確保に取り組みます					利用料金制の有無		(有)・無			
	方針	3	地域医療を守り・育てる市民活動の推進					指定管理委託料の有無		(有)・無			
指定管理者名称				誠仁会 代表 山本 俊一				自主事業の有無		有・無			
指定期間				令和6年4月～令和9年3月 ( 3 年間 )				キックバック条項の有無		有・無			
施設の設置目的												須木地域の保健衛生及び福祉増進のため、医療を行い、あわせて公衆衛生の向上に寄与する。	
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 診療及び健康診断に関する業務 ② 調剤及び製剤に関する業務 ③ 健康相談に関する業務 ④ 診療所の施設及び設備の維持管理に関する業務											
	自主事業	なし											
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支		使用料(市)			
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)					
3,960,000	2,754,009	164,201	6,878,210	3,025,692	3,852,518	0	6,878,210	0					
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支		使用料(市)			
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)					
4,560,000	4,500,000	200,000	9,260,000	4,107,582	5,152,418	0	9,260,000	0					
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	受診者の立場で極力少ない受診回数、受診料で治療を終えられるように務めた。入院を予定している受診者には予防的治療を行うとともに、良好な予後経過のため口腔ケアを行った。					
	診療所利用者数	目標		480	480	425							
		実績		360	265								

評価(Check)～改善(Action)

## 指定管理者による自己評価

指定管理者 総合評価	年金のみで生活を営む高齢患者が多いため、患者の立場に立って本当に必要な治療を行い、不要な治療は行わなかった。院内での感染症対策にも注力した。 既往症を持つ患者、手術を控えた患者には主治医、担当医師との情報共有を綿密に行った。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	診療所および医療機器の適切な管理に努め、安全かつ丁寧な歯科医療を提供します。職員の採用にむけて、ハローワーク等を通じ引き続き求人活動を行っていきます。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	適宜施設を訪問し、受診者数の動向、施設管理状況等を聴取した。
指導事項等及び改善状況	歯科助手等を1名雇用するように指導しており、ハローワークを通じた求人活動も行われているが、雇用には至らなかった。
指定管理業務の収支状況	医業収入、受診者数ともに減少しているが未収金等はない。歯科助手等の雇用がなかったため、指定管理料のうち人件費補助分相当600,000円が戻入となった。
自主事業の収支状況	なし
指定管理者の経営状態の健全性	受診者、利用料が減少しているものの経営は成立しており、適正に経営されていると判断できる。
所管課 総合評価	交通手段の限られる高齢者を中心に受診があるものの、その数は減少傾向にある。地域人口の減少が進む中、診療所内に受診者が利用できる運動器具を設置するなど、受診者の健康作りに寄与する努力を行っている。 適正な診療、管理体制を構築するため助手等の雇用を指示し、また求人活動も行われているが、利用料収入の増加が見込めなければ雇用が困難、という実情もある。 人口減少が加速度的に進むなかで、歯科診療を提供する方法を改めて考える必要があるものの、地域唯一の歯科としての役割は果たしている。



## 【須木歯科診療所】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	おおむね遵守されており、急用や慶弔時は張り紙等で対応している。
	法令等の順守はされているか。	○	遵守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	△	助手等の雇用に至っていない。患者数が減少しており、医師一人に対応している。
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。	△	従業者はいない。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	既往疾病の担当医等と情報を共有している。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	利用、使用許可業務は発生していない。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	利用、使用許可業務は発生していない。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	△	1ヶ月分の受付帳簿がなくなっており、原因は不詳。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	日本歯科麻酔学会団体保険加入
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	自主事業は実施されていない。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	丁寧な診療を行っている。
	接遇について適切に実施されているか。	○	実施されている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	苦情は発生しなかった。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	苦情は発生しなかった。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に行われている。
維持管理	清掃業務の状況	○	おおむね整理、清掃されている。
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に管理されている。
	保安警備業務の状況	○	独自に監視カメラによる防犯対策を講じている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	感染症蔓延対策に努めている。

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				内山地域福祉センター				整理番号	指定19
所在地				小林市須木内山5203番地1				所属部・課名	須木庁舎 住民生活課
総合計画との関連	大綱	2	いきいき					グループ名	住民生活G
	施策	(2)	高齢者を支援します					指定管理制度導入年度	平成 18 年 4 月
	方針	3	介護予防の普及・支援の推進					利用料金制の有無	(有)・無
指定管理者名称				社会福祉法人 そうあい				指定管理委託料の有無	(有)・無
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				自主事業の有無	有・無
施設の設置目的				高齢者等地域住民の福祉活動における拠点であり、生活の質の向上を図る施設である。					
指定管理者が行う業務内容	基本事業	(1)デイサービス(介護保険法(平成9年法律第123号)による地域密着型通所介護事業及び第1号通所介護をいう。)に関する業務(2)本施設の利用の許可に関する業務(3)本施設及び設備の維持管理に関する業務(4)前項に定めるもののほか、本施設の運営に関する業務のうち、市長の権限に属する事務を除く業務							
	自主事業	なし							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
5,344,000	47,850	1,807,768	7,199,618	279,760	4,460,491	2,076,378	6,816,629	382,989	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
5,344,000	30,000	1,304,000	6,678,000	550,000	4,545,000	2,115,000	7,210,000	△ 532,000	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	へき地診療、デイサービス事業の利用や、災害時の避難場所としての機能を果たすことができた。 月1回の茶話会は平均13名の参加があり、地域住民の交流及び活動の場の提供ができた。	
	施設利用者数	目標	1,200	1,200	1,000				
		実績	959	994					
	デイサービス利用者数		600	600	400				
		185	205						

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者 総合評価	内山地区の福祉活動の拠点施設としてデイサービス運営(週1回)、へき地診療(月1回)、高齢者等の交流活動として茶話会(月1回)を実施した。毎月ほぼ全世帯を訪問し、一人暮らしの高齢者及び高齢者世帯等の実態把握に努めてきました。報告が必要な情報は個人情報漏洩に留意しつつ、協力機関へ報告を行いました。また、センター周辺の草刈り等を行い、環境整備に努めました。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	より良いサービスが提供できるよう、介護に関する研修会へ参加します。毎月の高齢者宅への訪問も継続し、茶話会への参加呼びかけを行います。内山地区の方々の交流の場として引きこもり予防、介護予防につなげたいと思います。あわせてデイサービス利用にも繋がるPR活動も続けていきます。引き続きセンター周辺の環境整備に努めていきます。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	定期的に施設に出向き、施設の状況・把握の確認を行った。また、年1回の運営協議会において、利用状況等の実績報告を受け、利用者、地域の代表者らと意見交換を実施した。
指導事項等及び改善状況	茶話会参加の積極的な呼びかけや季節を感じさせる実施内容により、毎回コンスタントに地区住民の参加があった。
指定管理業務の収支状況	適正である。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	適正である。
所管課 総合評価	地区の高齢化と人口減少にともない利用者数は年々減ってきているが、内山地区の福祉活動及び地域活動の拠点施設として、有効に利活用され、交流の場としての機能が図られた。また、内山地区は、のじり地域包括支援センターの担当区域であるため、相互に連携を密にし、情報の共有を図りながら、地域の福祉向上に今後も引き続き努めて頂きたい。運営協議会においても、地区住民の理解を十分に得られていることがうかがえる。地域に密着した活動、運営を継続していただきたい。

## 【内山地域福祉センター】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守されている。
	法令等の順守はされているか。	○	順守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正になされている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	確保されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	緊急時対応マニュアルに基づき対応されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に行われている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	個人情報保護法に基づき遵守されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	△	遅延の申し出があった。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切である。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	自主事業は実施していない。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組み状況はどうか。	○	相談窓口を設けて対応している。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切に実施されている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	苦情・要望等はなかった。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	苦情・要望等はなかった。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に行なわれている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正である。
	施設、設備の保守管理状況	○	適正である。
	保安警備業務の状況	○	適正である。
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正である。

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				内山地区運動広場				整理番号	指定20
所在地				小林市須木内山5253番地				所属部・課名	須木庁舎 地域振興課
総合計画との関連	大綱	5	計画の実現に向けて					指定管理制度導入年度	平成18年度
	施策	(3)	市民参画による協働のまちづくりを推進します					利用料金制の有無	有・無
	方針	1	市民協働のまちづくりの推進					指定管理委託料の有無	有・無
指定管理者名称				内山区				自主事業の有無	有・無
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・無
施設の設置目的									
市民の体位・体力の向上とスポーツ、レクリエーションの普及振興を図る。									
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務							
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	0	126,972	126,972	126,972	0	0	126,972	0	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	1,000	125,000	126,000	126,000	0	0	126,000	0	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。	
	施設利用人数(人)	目標	350	350	350				
		実績	269	159					
	安全性の確保日数(日)	目標	365	365	365				
		実績	365	365					

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、小林市防災計画に基づく一次避難所として指定されている重要施設である。施設は老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時に適正な運営の指導により改善されている。今後は、地区行事等での更なる利用促進を図る。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	昭和59年に造成設置された施設で、平成21年にグラウンド敷地面の改良が行われたが敷地全体の土壌が悪いため改修が必要である。但し、改修については当分の間は現状維持でいくことで地元区長と協議している。今後も行政と緊密な連絡協議を行い、継続的な維持管理を実施する。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	運動広場の有意義な利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは2ヶ月に1回(年6回)実施している。行政と緊密な連携を行い、緊急の場合にも対応が可能な体制を構築している。
指導事項等及び改善状況	地域の運動施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域に位置する運動施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間を通して利用している。収支状況は、収入はなく維持管理費は区で負担している。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	高齢化の進む内山地域に位置する健康増進の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されている。今後は更に施設の利用促進に向けての取り組みを強化していく。

## 【内山地区運動広場】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				高齢者コミュニティセンター城山館				整理番号		指定21	
所在地				小林市須木下田662番地1				所属部・課名		須木庁舎 地域振興課	
総合計画との関連	大綱	5	計画の実現に向けて					指定管理制度導入年度		平成18年度	
	施策	(3)	市民参画による協働のまちづくりを推進します					利用料金制の有無		(有)・無	
	方針	1	市民協働のまちづくりの推進					指定管理委託料の有無		有・無	
指定管理者名称				麓区				自主事業の有無		有・無	
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無		有・無	
施設の設置目的											
地域高齢者の連帯強化、文化福祉の向上及び健康増進を図る。											
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務									
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。									
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	2,000	201,467	203,467	203,467	0	0	203,467	0			
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	2,000	200,000	202,000	202,000	0	0	202,000	0			
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。			
	施設利用人数(人)	目標	500	500	500						
		実績	429	519							
	安全性の確保日数(日)	目標	365	365	365						
		実績	365	365							

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、小林市防災計画に基づく一次避難所として指定されている重要施設である。施設は老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時に適正な運営の指導により改善されている。今後は、地区行事等での更なる利用促進を図る。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	昭和59年に建設された施設であり一部老朽化している。段差などが多いため高齢化に対応しづらくなっているが、行政と相談し改善する方向で進めている。施設の長寿寿命化を目指し、行政と緊密な連絡協議を行い、継続的な維持管理を実施する。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	施設の利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは2ヶ月に1回(年6回)実施している。行政と緊密に連携し、緊急の場合にも対応が可能な体制や施設設備の維持管理についての連絡体制を構築している。
指導事項等及び改善状況	地域住民のコミュニティ施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間計画を作成し、管理業務を適正に実施している。収支状況は、利用料及び使用頻度が高い地域住民団体(区・小組合)の負担により管理を行っている。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	地域住民の住民自治活動の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されている。今後は更に施設の利用促進に向けての取り組みを強化していく。

# 【高齢者コミュニティセンター城山館】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施 △改善が必要 ×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)								整理番号	指定22	
指定管理者制度導入施設名				下田地区農業構造改善センター永田館				所属部・課名	須木庁舎 地域振興課	
所在地				小林市須木下田1244番地1				グループ名	地域振興グループ	
総合計画との関連	大綱	5	計画の実現に向けて					指定管理制度導入年度	平成18年度	
	施策	(3)	市民参画による協働のまちづくりを推進します					利用料金制の有無	有・無	
	方針	1	市民協働のまちづくりの推進					指定管理委託料の有無	有・無	
指定管理者名称				永田区				自主事業の有無	有・無	
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・無	
施設の設置目的				地域農村の振興及び生活の向上を図る。						
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務								
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。								
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)		
0	24,000	187,445	211,445	211,445	0	0	211,445	0		
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)		
	24,000	190,000	214,000	214,000	0	0	214,000	0		
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。		
	施設利用人数(人)	目標	1,000	1,000	1,000					
		実績	1,018	891						
	安全性の確保日数(日)	目標	365	365	365					
		実績	365	365						

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、小林市防災計画に基づく一次避難所として指定されている重要施設である。施設は老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時に適正な運営の指導により改善されている。今後は、地区行事等での更なる利用促進を図る。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	昭和61年に建設された施設であり一部老朽化している。長寿命化を目指し、行政と緊密に連絡協議を行い、継続的な維持管理を実施する。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	施設の利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは2ヶ月に1回(年6回)実施している。行政と緊密に連携し、緊急の場合にも対応が可能な体制や施設設備の維持管理についての連絡体制を構築している。
指導事項等及び改善状況	地域住民のコミュニティ施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間計画を作成し、管理業務を適正に実施している。収支状況は、利用料及び使用頻度が高い地域住民団体(区・小組合)の負担により管理を行っている。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	地域住民の住民自治活動の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されている。今後は更に施設の利用促進に向けての取り組みを強化していく。



# 【下田地区農業構造改善センター永田館】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施 △改善が必要 ×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)								整理番号	指定23		
指定管理者制度導入施設名				中河間地区生活改善センター				所属部・課名	須木庁舎 地域振興課		
所在地				小林市須木中原2346番地				グループ名	地域振興グループ		
総合計画との関連	大綱	5	計画の実現に向けて					指定管理制度導入年度	平成18年度		
	施策	(3)	市民参画による協働のまちづくりを推進します					利用料金制の有無	有・無		
	方針	1	市民協働のまちづくりの推進					指定管理委託料の有無	有・無		
指定管理者名称				中河間区				自主事業の有無	有・無		
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・無		
施設の設置目的										地域住民の健康管理及び増進を図る。	
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務									
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。									
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)		
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	10,000	204,730	214,730	214,730	0	0	214,730	0			
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)		
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	10,000	200,000	210,000	210,000	0	0	210,000	0			
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。			
	施設利用人数(人)	目標	250	250	250						
		実績	405	195							
	安全性の確保日数(日)	目標	365	365							
		実績	365	365							

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、小林市防災計画に基づく一次避難所として指定されている重要施設である。施設は老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時に適正な運営の指導により改善されている。今後は、地区行事等での更なる利用促進を図る。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	昭和57年に建設された施設であり、一部老朽化している。長寿命化を目指し、行政と緊密な連絡協議を行い、継続的な維持管理を実施する。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	施設の利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは2ヶ月に1回(年6回)実施している。行政と緊密に連携し、緊急の場合にも対応が可能な体制や施設設備の維持管理についての連絡体制を構築している。
指導事項等及び改善状況	地域住民のコミュニティ施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間計画を作成し、管理業務を適正に実施している。収支状況は、利用料及び使用頻度が高い地域住民団体(区・小組合)の負担により管理を行っている。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	地域住民の住民自治活動の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されている。今後は更に施設の利用促進に向けての取り組みを強化していく。

## 【中河間地区生活改善センター】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				夏木地区多目的研修集会施設夏木館				整理番号		指定24	
所在地				小林市須木鳥田町2858番地2				所属部・課名		須木庁舎 地域振興課	
総合計画との関連	大綱	5	計画の実現に向けて					指定管理制度導入年度		平成18年度	
	施策	(3)	市民参画による協働のまちづくりを推進します					利用料金制の有無		(有)・無	
	方針	1	市民協働のまちづくりの推進					指定管理委託料の有無		有・ <del>(無)</del>	
指定管理者名称				夏木区				自主事業の有無		有・ <del>(無)</del>	
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無		有・ <del>(無)</del>	
施設の設置目的				地域住民の会合、研修、調理講習、健康管理、体力増進その他各種行事を行い調和のとれた健康で活力ある集落の振興と農業所得の向上、生活改善を図る。							
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務									
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。									
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	21,000	129,235	150,235	150,235	0	0	150,235	0			
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	21,000	130,000	151,000	151,000	0	0	151,000	0			
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。			
	施設利用人数(人)	目標	300	300	300						
		実績	336	264							
	安全性の確保日数(日)	目標	365	365	365						
		実績	365	365							

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、小林市防災計画に基づく一次避難所として指定されている重要施設である。施設は老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時に適正な運営の指導により改善されている。今後は、地区行事等での更なる利用促進を図る。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	利用促進を図るとともに、施設管理において行政と緊密な連絡協議を行い、継続的な維持管理を実施する

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	施設の利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは2ヶ月に1回(年6回)実施している。行政と緊密に連携し、緊急の場合にも対応が可能な体制や施設設備の維持管理についての連絡体制を構築している。
指導事項等及び改善状況	地域住民のコミュニティ施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間計画を作成し、管理業務を適正に実施している。収支状況は、利用料及び使用頻度が高い地域住民団体(区・小組合)の負担により管理を行っている。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	地域住民の住民自治活動の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されている。今後は更に施設の利用促進に向けての取り組みを強化していく。

# 【夏木地区多目的研修集会施設夏木館】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施 △改善が必要 ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				堂屋敷集会施設				整理番号	指定25
所在地				小林市須木鳥田町3070番地57				所属部・課名	須木庁舎 地域振興課
総合計画との関連	大綱	5	計画の実現に向けて					指定管理制度導入年度	平成18年度
	施策	(3)	市民参画による協働のまちづくりを推進します					利用料金制の有無	有・無
	方針	1	市民協働のまちづくりの推進					指定管理委託料の有無	有・無
指定管理者名称				堂屋敷区				自主事業の有無	有・無
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・無
施設の設置目的									
地域住民の定住化促進及び交流、生活改善、農林業経営改善を図る。									
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務							
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	0	39,512	39,512	39,512	0	0	39,512	0	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。	
	施設利用人数(人)	目標	30	30	0				
		実績	0	36					
	安全性の確保日数(日)	目標	365	365	0				
		実績	365	365					

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時にて適正な運営の指導により改善されている。地区人口の減少により、施設経費の1世帯あたりの支払いが多額となり、運営が厳しいことから、施設の利用を一部使用にしていた。 4月6日の堂屋敷区総会にて、堂屋敷区の解散が決定し、指定管理の指定取消を行った。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	昭和61年に建設された施設であり、一部老朽化している。全体的な長寿寿命化を目指し、令和7年度は直営にて、継続的な維持管理を実施する。今後は、施設運営の見直しが必要である。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	施設の利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは2ヶ月に1回(年6回)実施している。行政と緊密に連携し、緊急の場合にも対応が可能な体制や施設設備の維持管理についての連絡体制を構築している。
指導事項等及び改善状況	地域住民のコミュニティ施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間計画を作成し、管理業務を適正に実施している。収支状況は、利用料及び使用頻度が高い地域住民団体(区・小組合)の負担により管理を行っている。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	地域住民の住民自治活動の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されていたが、堂屋敷区が解散したことから、今後の運営について協議をしていく必要がある。

## 【堂屋敷集会所施設】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				下九瀬公民館				整理番号		指定26	
所在地				小林市須木鳥田町3497番地1				所属部・課名		須木庁舎 地域振興課	
総合計画との関連	大綱	5		計画の実現に向けて				指定管理制度導入年度		平成18年度	
	施策	(3)		市民参画による協働のまちづくりを推進します				利用料金制の有無		(有)・無	
	方針	1		市民協働のまちづくりの推進				指定管理委託料の有無		有・ <del>(無)</del>	
指定管理者名称				下九瀬区				自主事業の有無		有・ <del>(無)</del>	
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無		有・ <del>(無)</del>	
施設の設置目的											
地域住民の会合、研修、調理講習、健康管理、体力増進その他各種行事を行い調和のとれた健康で活力ある集落の振興と農業所得の向上、生活改善を図る。											
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務									
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。									
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	2,000	141,898	143,898	143,898	0	0	143,898	0			
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	2,000	150,000	152,000	152,000	0	0	152,000	0			
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。			
	施設利用人数(人)	目標		300	300	300					
		実績		244	231						
	安全性の確保日数(日)	目標		365	365	365					
		実績		365	365						

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、小林市防災計画に基づく一次避難所として指定されている重要施設である。施設は老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時に適正な運営の指導により改善されている。今後は、地区行事等での更なる利用促進を図る。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	利用促進を図るとともに、施設管理において行政と緊密な連絡協議を行い、継続的な維持管理を実施する

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	施設の利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは2ヶ月に1回(年6回)実施している。行政と緊密に連携し、緊急の場合にも対応が可能な体制や施設設備の維持管理についての連絡体制を構築している。
指導事項等及び改善状況	地域住民のコミュニティ施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間計画を作成し、管理業務を適正に実施している。収支状況は、利用料及び使用頻度が高い地域住民団体(区・小組合)の負担により管理を行っている。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	地域住民の住民自治活動の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されている。今後は更に施設の利用促進に向けての取り組みを強化していく。



## 【下九瀬公民館】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)				整理番号		指定27			
指定管理者制度導入施設名		上九瀬公民館		所属部・課名		須木庁舎 地域振興課			
所在地		小林市須木鳥田町3734番地5		グループ名		地域振興グループ			
総合計画との関連	大綱	5 計画の実現に向けて		指定管理制度導入年度		平成18年度			
	施策	(3) 市民参画による協働のまちづくりを推進します		利用料金制の有無		有・無			
	方針	1 市民協働のまちづくりの推進		指定管理委託料の有無		有・無			
指定管理者名称				上九瀬区		自主事業の有無			
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )		キックバック条項の有無			
施設の設置目的									
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務							
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	2,000	245,241	247,241	247,241	0	0	247,241	0	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	2,000	245,000	247,000	247,000	0	0	247,000	0	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。	
	施設利用人数(人)	目標	300	300	300				
		実績	344	183					
	安全性の確保日数(日)	目標	365	365	365				
		実績	365	365					

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、小林市防災計画に基づく一次避難所として指定されている重要施設である。施設は老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時に適正な運営の指導により改善されている。今後は、地区行事等での更なる利用促進を図る。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	利用促進を図るとともに、施設管理において行政と緊密な連絡協議を行い、継続的な維持管理を実施する

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	施設の利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは2ヶ月に1回(年6回)実施している。行政と緊密に連携し、緊急の場合にも対応が可能な体制や施設設備の維持管理についての連絡体制を構築している。
指導事項等及び改善状況	地域住民のコミュニティ施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間計画を作成し、管理業務を適正に実施している。収支状況は、利用料及び使用頻度が高い地域住民団体(区・小組合)の負担により管理を行っている。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	地域住民の住民自治活動の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されている。今後は更に施設の利用促進に向けての取り組みを強化していく。

## 【上九瀬公民館】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				奈佐木地区多目的研修集会施設				整理番号	指定28
所在地				小林市須木奈佐木4214番地1				所属部・課名	須木庁舎 地域振興課
総合計画との関連	大綱	5	計画の実現に向けて					指定管理制度導入年度	平成18年度
	施策	(3)	市民参画による協働のまちづくりを推進します					利用料金制の有無	有・無
	方針	1	市民協働のまちづくりの推進					指定管理委託料の有無	有・無
指定管理者名称				奈佐木区				自主事業の有無	有・無
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・無
施設の設置目的									
地域住民の会合、研修、調理講習、健康管理、体力増進その他各種行事を行い調和のとれた健康で活力ある集落の振興と農業所得の向上、生活改善を図る。									
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務							
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	18,100	201,350	219,450	219,450	0	0	219,450	0	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	20,000	200,000	220,000	220,000	0	0	220,000	0	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。	
	施設利用人数(人)	目標	600	1,100	600				
		実績	1,132	671					
	安全性の確保日数(日)	目標	365	365	365				
		実績	365	365					

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、小林市防災計画に基づく一次避難所として指定されている重要施設である。施設は老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時に適正な運営の指導により改善されている。今後は、地区行事等での更なる利用促進を図る。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	利用促進を図るとともに、施設管理において行政と緊密な連絡協議を行い、継続的な維持管理を実施する

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	施設の利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは2ヶ月に1回(年6回)実施している。行政と緊密に連携し、緊急の場合にも対応が可能な体制や施設設備の維持管理についての連絡体制を構築している。
指導事項等及び改善状況	地域住民のコミュニティ施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間計画を作成し、管理業務を適正に実施している。収支状況は、利用料及び使用頻度が高い地域住民団体(区・小組合)の負担により管理を行っている。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	地域住民の住民自治活動の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されている。今後は更に施設の利用促進に向けての取り組みを強化していく。

## 【奈佐木地区多目的研修集会施設】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				須志原集会施設				整理番号	指定29
所在地				小林市須木内山4902番地				所属部・課名	須木庁舎 地域振興課
総合計画との関連	大綱	5	計画の実現に向けて	指定管理制度導入年度				平成18年度	
	施策	(3)	市民参画による協働のまちづくりを推進します	利用料金制の有無				(有)・無	
	方針	1	市民協働のまちづくりの推進	指定管理委託料の有無				有・無	
指定管理者名称				須志原小組合内山区				自主事業の有無	有・無
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・無
施設の設置目的									
地域農村の振興及び生活の向上を図る。									
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務							
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	0	89,837	89,837	89,837	0	0	89,837	0	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	1,000	90,000	91,000	91,000	0	0	91,000	0	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。	
	施設利用人数(人)	目標	75	80	80				
		実績	114	71					
	安全性の確保日数(日)	目標	365	365	365				
		実績	365	365					

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、小林市防災計画に基づく一次避難所として指定されている重要施設である。施設は老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時に適正な運営の指導により改善されている。今後は、地区行事等での更なる利用促進を図る。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	昭和59年に建設された施設であり一部老朽化している。施設の簡易修繕や長寿命化を図りながら行政と緊密な連絡協議を行い、継続的な維持管理を実施する。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	地区住民の利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは実績報告以外でも逐次実施している。また、行政と緊密に連携し、緊急の場合にも対応が可能な体制を構築している
指導事項等及び改善状況	地域住民のコミュニティ施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間計画を作成し、管理業務を適正に実施している。収支状況は、利用料及び使用頻度が高い地域住民団体(区・小組合)の負担により管理を行っている。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	地域住民の住民自治活動の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されている。今後は更に施設の利用促進に向けての取り組みを強化していく。

## 【須志原集会施設】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				袋地区営農研修館				整理番号	指定30
所在地				小林市須木中原1931番地1				所属部・課名	須木庁舎 地域振興課
総合計画との関連	大綱	5	計画の実現に向けて					指定管理制度導入年度	平成18年度
	施策	(3)	市民参画による協働のまちづくりを推進します					利用料金制の有無	有・無
	方針	1	市民協働のまちづくりの推進					指定管理委託料の有無	有・無
指定管理者名称				袋小組合原区				自主事業の有無	有・無
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・無
施設の設置目的									
地域住民の会合、営農研修、農産物加工、調理実習、地区内の各種行事を行い、地区住民の連帯意識の高揚、農業所得の向上及び生活改善を図る。									
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務							
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	58,565	46,988	105,553	105,553	0	0	105,553	0	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
0	60,000	45,000	105,000	105,000	0	0	105,000	0	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。	
	施設利用人数(人)	目標		200	200	200			
		実績		545	155				
	安全性の確保日数(日)	目標		365	365	365			
		実績		365	365				

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、小林市防災計画に基づく一次避難所として指定されている重要施設である。施設は老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時にて適正な運営の指導により改善されている。高齢化していく加工グループ存続維持を図るために他の加工団体と連携するなど工夫し、利用促進に向けた取組を進めていく必要がある。
R7年度取り組み見直し改善点・具体的な活動内容	利用促進を図るとともに、施設管理において行政と緊密な連絡協議を行い、継続的な維持管理を実施する

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	加工施設としての利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは実績報告以外でも逐次実施している。行政と緊密に連携し、緊急の場合にも対応が可能な体制を構築している。
指導事項等及び改善状況	地域住民のコミュニティ施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間計画を作成し、管理業務を適正に実施している。収支状況は、令和5年度は利用料収入は無く、収入・支出ともに使用頻度が高い地域住民団体(区・小組合)からの負担により管理を行っている。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	地域住民の住民自治活動の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されている。今後は更に施設の利用促進に向けての取り組みを強化していく。



# 【袋地区営農研修館】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施 △改善が必要 ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				原地区集会施設				整理番号		指定31	
所在地				小林市須木中原1819番地2				所属部・課名		須木庁舎 地域振興課	
総合計画との関連	大綱	5	計画の実現に向けて					指定管理制度導入年度		平成18年度	
	施策	(3)	市民参画による協働のまちづくりを推進します					利用料金制の有無		(有)・無	
	方針	1	市民協働のまちづくりの推進					指定管理委託料の有無		有・無	
指定管理者名称				原区				自主事業の有無		有・無	
指定期間				令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無		有・無	
施設の設置目的											
地域高齢者の連帯強化、文化福祉の向上及び健康増進を図る。											
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設の利用許可に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務									
	自主事業	施設の利用許可及び適正な維持管理が主体業務である。自主事業の計画はないが地域のコミュニティ施設として地域振興や住民自治の推進を図り、当該施設の設置及び管理に関する条例に基づいた利用促進を行う。									
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	58,500	42,517	101,017	101,017	0	0	101,017	0			
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
0	60,000	42,000	102,000	102,000	0	0	102,000	0			
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	地域住民の集会施設として、地域が主体となった指定管理委託料に依存しない管理体制により施設の維持を実施した。地域住民の自治活動の拠点施設として利用が図られた。			
	施設利用人数(人)	目標	900	900	800						
		実績	650	738							
	安全性の確保日数(日)	目標	365	365	365						
		実績	365	365							

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	当該施設は、小林市防災計画に基づく一次避難所として指定されている重要施設である。施設は老朽化が進んでいるため今後も計画的な維持修繕が必要である。また、当該施設の設置及び管理条例並びに基本協定の各種事項の内容については、2ヶ月に1回のモニタリング時に適正な運営の指導により改善されている。今後は、地区行事等での更なる利用促進を図る。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	利用促進を図るとともに、施設管理において行政と緊密な連絡協議を行い、継続的な維持管理を実施する

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	施設の利用及び維持管理が主体業務であり、モニタリングは2ヶ月に1回(年6回)実施している。行政と緊密に連携し、緊急の場合にも対応が可能な体制や施設設備の維持管理についての連絡体制を構築している。
指導事項等及び改善状況	地域住民のコミュニティ施設としての利用促進、安全確保の推進を指導している。また、公の施設としての公平性の確保のほか、条例に基づく利用許可申請についても指導している。
指定管理業務の収支状況	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民団体(区・小組合)が年間計画を作成し、管理業務を適正に実施している。収支状況は、利用料及び使用頻度が高い地域住民団体(区・小組合)の負担により管理を行っている。
自主事業の収支状況	なし。
指定管理者の経営状態の健全性	地域住民団体(区・小組合)が区費等の財源をもとに計画性をもって運営をしており、今後も安定した健全な経営が可能と考えられる。
所管課総合評価	地域住民の住民自治活動の拠点施設として、地域が主体となった維持管理を実施し、施設の管理を通してコミュニティ活動及び地域振興の継続的な推進体制が構築されている。今後は更に施設の利用促進に向けての取り組みを強化していく。

## 【原地区集会施設】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	適正に実施されている。
	法令等の順守はされているか。	○	適正に実施されている。(消防法等)
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に実施されている。(地域住民の計画的な配置)
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。		
	緊急事態の対応がとれているか。	○	適正に実施されている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正な水準にある。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に処理されている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	適正に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	適正に提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
	自主事業の実施状況は適切であるか。		
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	適正に実施されている。(住民自治活動に利用されている。)
	接遇について適切に実施されているか。		
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正に対応されている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正に報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に実施されている。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	適正に実施されている。(巡回警備までは求めてない。)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に実施されている。(小組合で計画的に清掃の実施)

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)								整理番号	指定32
指定管理者制度導入施設名				すきむらんど				所属部・課名	経済建設部 商工観光課
所在地				小林市須木下田412番地6				グループ名	観光G
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい					指定管理制度導入年度	平成18年度
	施策	(4)	観光産業を振興します					利用料金制の有無	(有)・無
	方針	1	観光DMOによる観光振興の促進					指定管理委託料の有無	(有)・無
指定管理者名称				株式会社BRIDGE the gap				自主事業の有無	(有)・無
指定期間				令和4年4月～令和9年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	(有)・無
施設の設置目的									
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 施設及び設備の維持管理に関する業務 ② 業務の計画及び実施に関する業務 ③ 利用の許可及び制限に関する業務 ④ 利用料金に関する業務 ⑤ ①～④のほか施設の運営に関する事務(市の権限に属する事務を除く。)							
	自主事業	基本事業の範囲以外の業務で、自己の責任と費用において実施する業務 (レストラン及びフードトラック、ウォーターアクティビティの運営並びにイベントの企画及び実施)							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
44,807,245	22,601,784	43,320,375	110,729,404	34,348,882	44,460,684	27,215,924	106,025,490	4,703,914	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
41,830,000	17,613,838	52,752,513	112,196,351	31,306,565	36,273,840	18,706,654	86,287,059	25,909,292	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	主力事業である宿泊、レストラン、フードトラック、須木の特産品(栗)を活用した事業について、売上が昨年度より大幅に増加した。	
	入場者数(人)	目標	56,000	56,000	56,000				
		実績	43,916	42,135					
	自主事業収入(千円)	目標	30,000	30,000	30,000				
		実績	30,345	42,261					

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	主力事業である茅葺きの宿るかや、おこめ処お結びや、すきむらんどフードトラック、須木栗事業は売上が昨年度対比で大幅に増加した。茅葺きの宿るかやでは、新しい宿泊プラン、リピーターを増やす取組としてダイレクトメールの送信や宿泊サイトのレビューの高評価が更なる集客につながった。おこめ処お結びやでは、定期的なキャンペーンと新商品を投入し、すきむらんどフードトラックでは、積極的にイベントに出店を行った。須木栗事業では、生産者とのコミュニケーションを充実させたことにより、仕入れ高が大幅に増加した。また、栗を使用した新商品の開発し、好評を得られた。しかし、予想以上の仕入れだったため、在庫管理や仕込みの遅れにより、品質が低下し、最大限活かすしきれなかった。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	茅葺きの宿るかや事業が終了となったため、今年度注力しきれなかった4事業(すきむらんどフードトラック、ウォーターアクティビティ、東俣谷バンガロー、東俣谷研修館)をプロジェクト化し、プロジェクトチームを組織することで売上の大幅な増加を目指し、新たなすきむらんど事業の柱を創出する。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	利用人数及び利用料金の業務実施状況に加えて収支状況を月に1回、年間の事業実績等の業務報告書を年度終了後に提出を受け、聞き取りも行いながら状況の確認を行った。
指導事項等及び改善状況	施設の維持管理及び修繕箇所の把握に務めるように指導した。
指定管理業務の収支状況	るかやの宿泊者増による利用料金の収入増に加え、すきむらんど温泉かじかの湯における温泉設備の故障による売上が減少したことに伴う、応急的な措置として温泉水を水道水に切り替えたことによる水道代、燃料費の経費が増加しているもののその他の経費削減により収支合計は増収となった。
自主事業の収支状況	茅葺きの宿るかや宿泊の新プランの創設やフードトラックの積極的な出店により売上を大幅に増につながっている。
指定管理者の経営状態の健全性	茅葺きの宿るかやの終了に伴い利用料金が減収するが、すきむらんどフードトラックの稼働率向上に向けてイベントでの出店が見込めることや須木栗事業において徹底した品質管理、在庫管理により更なる事業拡大が見込めるため、経営状態の健全性の確保が期待できる。
所管課総合評価	各自主事業の取組による収入の大幅な増加、さらに、税引き前ではあるが黒字となったことを高く評価する。また、茅葺きの宿るかやの終了に伴い利用料金が減収するため、これに変わる事業の展開と経営の安定化に向けた施設の維持管理を引き続き期待する。また、リピーターの確保や更なる新規顧客確保による、集客増加に向けたインバウンド戦略や地元特産品の栗を活用した地元連携の取り組みを実施するなど、今後の収益増加に向けて期待が持てる。今後も市と情報共有を図り、市内観光施設や関係団体との連携を強化できる体制を促進してもらいたい。

## 【すきむらんど】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	緊急時(台風等)を含め連絡体制・対応がされている。
	法令等の順守はされているか。	○	遵守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に配置されている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	確保されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	マニュアルを作成し対応している。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正に行われている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	確実に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切である。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	適切である。事後は無事化に向けた取り組みが必要
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	モニタリング時に検討を実施。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切に実施されている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	苦情については随時報告があり。要望等はモニタリング時に検討。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	苦情については随時報告があり。要望等はモニタリング時に検討。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	モニタリング時に収支状況を報告。
	経理事務は適正に行われているか。	○	モニタリング時に収支状況を報告。
維持管理	清掃業務の状況	○	定期的に行われている。
	施設、設備の保守管理状況	○	随時修繕を行っているが、施設の老朽化による修繕必要箇所が現在もある状況。
	保安警備業務の状況	○	不審事案等を発見した際は、警察への連絡体制をとっている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	定期的な検査を行っている。

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)				整理番号		指定33	
指定管理者制度導入施設名 <b>小林市立図書館・小林市立図書館須木分館・小林市立図書館野尻分館</b>				所属部・課名		教育部 社会教育課	
所在地 小林市細野367番地1				グループ名		社会教育グループ	
総合計画との関連	大綱	3	まなび	指定管理制度導入年度		平成20年度	
	施策	(2)	生涯学習を推進し、文化・芸術を振興します	利用料金制の有無		有・(無)	
	方針	4	読書活動の充実	指定管理委託料の有無		(有)・無	
指定管理者名称 特定非営利活動法人 小林図書館の森とらいくる				自主事業の有無		(有)・無	
指定期間 令和3年4月～令和8年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無		有・(無)	
施設の設置目的 教育と文化の発展に寄与することを目的とする。							
指定管理者が行う業務内容	基本事業	①図書の出しに関する業務 ②図書館資料の収集、整理その他図書館資料に関する業務 ③図書館の施設及び設備の維持管理に関する業務 ④図書館行事に関する業務 ⑤①から④に掲げるもののほか、図書館の運営に関する業務のうち、教育委員会の権限に属する事務を除く業務					
	自主事業	・読書活動推進事業 (1)子どもの読書活動推進事業 ①ブックスタート事業(選書委員会が選書した絵本を3か月健診時に2冊/人配布) ②読みきかせ事業(おはなし会、季節行事、絵本であそぼ0・1・2、「読みきかせ」連絡協議会共催事業) ③こどもの読書週間関連行事(絵本・児童書の特別展示、図書館ビンゴ) ④読書週間(読書まつり)関連行事(小林市読書まつり、夏休み理科体験「マープリング」、「カラベハリエ」に挑戦しよう！) (2)大人の読書活動推進事業 ①宅配(職員及び地域ボランティアを通しての宅配) ②テーマ展示(時期や突発的な話題、季節に合わせた図書、今月の著者展示) ③読書会(毎月1回) ④読書講座(古典に親しむ、絵本を親しむ会) ⑤絵本読みきかせ講座(読みきかせボランティア養成) (3)学校・団体支援事業 ①地域諸団体(社会福祉協議会須木支所交流会、つどいの場ふるさとセンター等) ②出前講座(小・中学校、幼稚園、保育園、福祉施設、児童センター等での講話やおはなし等) ③職場体験学習(中高生)、図書館見学(認定こども園、保育園、小・中学生等)、中高生・一般ボランティア活動受入 ④会議室開放 ⑤団体貸出・図書の宅配 (4)広報活動 ①「広報こばやし」 ②ホームページ ③小林市公式LINE配信にて新刊情報、図書館からのお知らせ、行事の様子などを配信 (5)移動図書館車での読書活動推進 ①令和5年7月に老朽化により移動図書館車を撤去したため、公用車にて巡回活動を継続中					
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)			
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)
42,746,000	0	27,263,758	70,009,758	21,825,175	41,594,582	0	63,419,757
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)			
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)
42,746,000	0	22,795,001	65,541,001	26,097,427	39,443,574	0	65,541,001
目標状況	成果指標		R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	安心・安全を第一に、利用者目線での読書環境整備に徹した。中核施設の使命、多様性、社会的包摂を主眼に、諸団体との連携を強化し、文化的格差を生じないよう、情報発信に努めるとともに、来館困難な市民への利便性を図った。
	図書館利用者登録率 (登録者/人口)	目標	43.0%	44.0%	45.0%		
		実績	44.5%	46.4%			
	図書館利用者数	目標	65,000	65,000	65,000		
実績		62,379	58,058				

### 評価(Check)～改善(Action)

#### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	事業活動方針を基に、公共図書館の役割・機能を明確にし管理・奉仕業務に尽力した。特に、読書環境の整備では、毎月斬新な展示を行い、利用者目線での図書館運営ができた。懸案となっていた蔵書冊数も12,589冊(書籍)の除籍を行い、所蔵の適正化が図られた。「読書感想文・感想画コンクール」では、行政及び学校の協力や支援により、児童生徒や保護者、市民への読書推進に繋がるまつりになった。職員一丸となり、「0歳から100歳までの小林教育プラン」に即したサービスの充実を目指し、講座や講演会、団体への「出張・出前図書館」の宅配業務の推進に努めた。特に顕著だったのが、団体貸出冊数の増加(昨年度比7.8%増の36,616冊)である。宅配先からのリクエストも多くなり、図書館貸出利用の推進力となった。県立・県内公共図書館との連携による相互貸借では、借受件数320件、貸出件数183件、県立図書館遠隔地返却利用107件の実績により、市民への利便性を図ることができた。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	令和7年度は指定管理業務委託4期の最終年度である。県や市の施策に則り、図書館人としての自覚と誇りを持ち、多様性や包摂性を考えサービスの充実を図る。具体的には市民への積極的な情報提供や収集、諸団体との連携、魅力的なイベント企画等により、来館者数、利用者数、貸出冊数の増加に努めたい。野尻分館の縮小によるサービス低下を防ぐため、行政や本館との連携を密にする。さらに、古書の電子化や蔵書の適切な維持管理にも尽力していく。

#### 所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実施地調査実施状況	偶数月に定例会、奇数月に担当者会を行い、事業の実施状況や利用状況等の報告を受け、モニタリングを実施した。また、基本協定書に基づき、月報・四半期報告・年度事業報告書が提出されており、状況確認を行った。
指導事項等及び改善状況	図書館は生涯学習を担う中核施設としての使命を踏まえ、「0歳から100歳までの教育プラン」を実践するにあたり、基本事業及び自主事業の充実を図るとともに、読書活動の推進に努めていると考える。今後も引き続き利用者のニーズに添った図書館運営を目指し、連携を図る必要がある。
指定管理業務の収支状況	収入は前年度比約1,010千円(1.5%)の減。主な要因は、管理委託収入が約180千円(0.3%)の増であったが、雑収入が約321千円(87.5%)の減、前期繰越利益が約973千円(7.9%)の減であったことによる。なお、雑収入の減は、令和4年度の漏水に伴う水道料の返還が令和5年度にあつたためである。 支出は前年度比約3,606千円(6.0%)の増。主な要因は、図書購入費が約398千円(6.5%)、消耗品費が約270千円(15.1%)、事務用品費が約95千円(11.5%)、管理委託費が約76千円(3.0%)など減であったが、給与手当が約3,150千円(11.3%)、法定福利費が約708千円(19.7%)、旅費交通費が約219千円(37.4%)、雑費が約126千円(23.0%)など支出科目の6割が増であったためである。 前期繰越利益がなければ、単年度収支は赤字であったが、前期繰越利益を充当することで運営に影響はなかった。 人件費が増加しつつ、物価高騰の影響による支出増が見込まれる中ではあったが、宅配業務が増加し、館内の管理業務が行き届かなくなる傾向にあり、加えて、須木分館及び野尻分館の移転作業も見込まれたため、ゆとりのある働き方のため、令和6年度は職員を1名新規採用したとのこと。 次期繰越利益は令和3年度が約13,159千円であり、これ以降毎年約1,000千円ずつ減少し、令和5年度が約11,296千円であったのに対し、令和6年度は約6,590千円(前年度比41.7%減)となっており、令和7年度の次期繰越利益はさらに少なくなることが見込まれる。 移転作業は、一時的なものであるため、業務について見直しを図り、人件費の圧縮を検討する必要がある。
自主事業の収支状況	図書館の運営は、基本的にサービスの提供であり、収入になる自主事業は行っていないが、図書館に訪れたことのない人に1人でも多く訪れてもらうための新たな自主事業の展開が求められる。
指定管理者の経営状態の健全性	税理士による毎月の出納確認、四半期及び年度分の業務報告について、それぞれ税理士の作成した決算報告書も提出されており、前年度よりも次期繰越利益が約4,706千円の減となったものの、今のところは安定的なサービス提供ができる経営状態であると判断できる。
所管課総合評価	令和5年度に比べ、令和6年度の個人貸出における入館者数は6.9%、貸出者数は2.9%、貸出冊数は3.9%と減少。そのうち、団体貸出における貸出冊数は7.8%増加。主な原因としては、県立図書館及びぶいの市民図書館において、電子書籍が導入されたことによるものと分析しているが、本市においては維持経費の面から導入予定は今のところない。しかしながら、導入図書館の状況把握は必要であると考え。入館者数、貸出者数はコロナ禍前の状態にまで戻っていないが、個人・団体合計の貸出冊数はコロナ禍前よりも依然として多い状態である。次年度以降も引き続き入館者、貸出者の維持・増加を図るべく、様々な取組が求められる。 懸案となっていた蔵書冊数も12,589冊の除籍を行い、所蔵の適正化が図られたとのことであった。 また、市公式LINEにてイベント周知を行うようにしたこと、初めて来館した方もいた。 入館者及び貸出者を維持・増加するためには、これまで図書館に訪れたことがない人に1人でも多く訪れてもらうことが必要で、そのような効果が期待できる事業を展開できるよう、また、生涯学習を担う中核施設として、人づくり地域づくりに役立ち、市民に愛され、必要とされ、満足度の高い図書館を目指していただきたい。

【小林市立図書館・小林市立図書館須本分館・小林市立図書館野尻分館】 **モニタリング評価票**

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	条例及び基本協定に基づき適切に遵守されている。
	法令等の順守はされているか。	○	図書館法や市条例等を適切に順守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	図書司書を4名配置し、本館及び各分館の運営に必要な有資格者を配置。また、業務が増え、対応すべく1名新規採用したとのこと。
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。	○	毎月社会保険労務士の状況確認で労働関係法令に基づき適切に管理されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	年2回の防災訓練の実施、館内点検、感染症対策等を行っている。特に、8月8日の地震発生時は利用者への声かけを実施したとのこと。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	入館者数・貸出者数・貸出冊数は前年度より減少したが、団体貸出における貸出冊数は増加した。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	必要に応じて会議室を読書関係団体等へ開放し、学習環境も提供している。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。		該当なし
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	基本協定書や事業計画に基づき適切に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	職員研修での周知、システムも含め適正である。
	備品は適正に管理されているか。	○	映写スクリーンが壊れたが、速やかに弁償した。それ以外は、基本協定書に基づき適切に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	遅滞なく提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	基本協定書に基づき第三者賠償保険に加入している。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	他機関と連携しながら子ども・大人の読書活動推進事業、団体貸出、市報掲載、市公式LINE利用等により貸出冊数の増加に努めた。
	接遇について適切に実施されているか。	○	利用者の要望等に基づき、適正に対応されている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	苦情等はほとんどないが、要望に対しては当課と連携しながら適正に対応している。要望のあったえびの市広報を閲覧できるようにした。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	苦情・要望等あった場合は、口頭・文書で報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	毎月、税理士に確認しながら、経理事務は適正に行われている。
維持管理	清掃業務の状況	○	職員による毎日の清掃及び毎月1回館内整理日での清掃を行い、対応できない部分は業者に委託している。
	施設、設備の保守管理状況	○	除草・樹木剪定・ワックスがけ、エアコン清掃、電気・自動扉・消防設備の保守点検を委託している。花壇は地域ボランティアによる清掃を実施。シニアカー専用駐車スペースを設置し、駐車場ラインを引き直した。梅雨や台風時期に横雨による雨漏りがひどく、窓周辺にコーキング
	保安警備業務の状況	○	館内に防犯カメラを3台設置しており、開館日の昼間は職員による1時間おき見回りを実施している、なお、職員全員に笛を持たせている。それ以外は、警備委託をしている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	熱中症に対する館内の空調管理の徹底を行った。

※評価基準 ○適切に実施

△改善が必要

×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者 導入施設名				小林総合運動公園市営プール				所屬部・課名		教育部 スポーツ振興課	
所在地				小林市南西方2087番地				グループ名		スポーツ振興G	
総合計画 との関連	大綱	3	まなび					指定管理制度導入年度		平成20年度	
	施策	(3)	スポーツ・体づくりを推進します					利用料金制の有無		(有)・無	
	方針	3	スポーツ活動の整備と充実					指定管理委託料の有無		(有)・無	
指定管理者名称				(株)FOUR LEAF				自主事業の有無		(有)・無	
指定期間				令和3年4月1日～令和8年3月31日 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無		有・(無)	
施設の設置目的				市民の健康増進と競技力向上を目的に設置							
指定管理 者が行う 業務内容	基本 事業	① 市営プールの清掃及び監視に関する業務 ② 市営プールの利用の許可に関する業務 ③ 市営プールの施設及び設備に維持管理に関する業務 ④ ①②③に掲げるものの他、市営プールの運営に関する業務のうち、市長の権限に属する事務を除く業務									
	自主 事業	各年代別、目的別にスクーリングを実施									
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
25,729,491	4,872,975	31,846,610	62,449,076	32,284,335	28,961,867	4,093,068	65,339,270	-2,890,194			
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支		使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
24,706,666	4,970,000	36,223,334	65,900,000	31,100,000	31,100,000	3,700,000	65,900,000	0			
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポ イント等)	事業計画書に基づき、業務を 遂行し、指定管理事業と自主事 業を組み合わせ、市民の健康増 進に寄与している。安心安全な 環境での利用促進に努める。			
	利用料金等収入		目標	4,800,000	4,670,000	4,970,000					
			実績	4,614,561	4,872,975						

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者 総合評価	前年度同様、施設利用者がコロナ前の水準まで回復しませんでした。少子化の影響や人手不足からのサービス低下と反省しております。春・秋のジュニア水泳競技会誘致と学校体育水泳での事故等もなく安全に行われた点は、よかったと思います。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	R7年度は、学校体育水泳が6校から9校に増え、施設利用者増が見込まれますが、安全第一で事故防止に取り組んでまいります。また、宮崎国スポ・障スポの開催に向けて宮崎県プールがオープンし、大会誘致も厳しいとは思いますが、小林市での大会誘致や児童クラブ、夏休み水泳教室等の団体利用促進に努めます。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地 調査実施状況	月1回の業務報告書の提出を義務付け、利用状況等の動向を注視する他、面談での聞き取りも実施している。
指導事項等 及び改善状況	自主事業や会員募集も行い利用者確保に努めているが、利用者については微減となった。中学校の水泳授業等も受入れながら引き続き利用者増に向けた取り組みを図っていただきたい。
指定管理業務 の収支状況	施設入場料等については、昨年度より増額となったが、電気料の高騰もあり、指定管理料の増額などの支援を行ったが、物価高騰により支出額が増え厳しい状況であった。
自主事業の 収支状況	自主事業については、物価高騰もあり厳しい状況であった。
指定管理者の経 営状態の健全性	電気料や物価高騰もあり経営は厳しい状況であるが、自主事業を積極的に行い経営の健全化を図り、施設利用のPRと利用者確保に努めてもらいたい。
所管課 総合評価	年間を通してのインフルエンザ等の流行により利用者は微減となった。安全管理に注意し、事故等もなく安全に運営されている。また、児童クラブ、支援学校及び市内小中学校の水泳事業も積極的に実施している。自主事業である会員制のスクール利用拡大に、幼児、小学生から年配の方まで幅広く取り組んでいる他、県ジュニア競技会やトライアスロン記録会などを行い、水泳競技の普及拡大に寄与している。



## 【小林総合運動公園市営プール】モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	入口、パンフレットに表示し、適正に行っている。
	法令等の順守はされているか。	○	市営プールの管理に関する条例等遵守している。
	適正な人員配置はなされているか。	○	職員数等適切に配置している。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	シフト表により適正に行われている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	安全管理マニュアル等により適正に行われている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	インフルエンザの流行等もあり前年度より微減となった。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	受付簿により適正に行われている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	毎日の日報により、人数と金額を適正に処理している。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	基本協定書及び事業計画に基づき実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	カギ付き保管庫により適切に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	基本協定書に基づき適切に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	遅滞なく提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	傷害保険・賠償保険に加入している。
利用者サービスの向上の取組	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	水泳教室等適切に行われている。
	利用者サービスの向上や利用促進の取組み状況はどうか。	○	様々な場面でPRを行い、適切に行っている。市回覧でチラシも配付予定。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切に行われている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	迅速に対応している。
収支の実績	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適切に報告されている。市への苦情も特になし。
	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適切に行われている。
維持管理	経理事務は適正に行われているか。	○	適切に行われている。
	清掃業務の状況	○	毎日、職員並びに委託業者で実施している。
	施設、設備の保守管理状況	○	基本協定書に基づき適切に行われている。
	保安警備業務の状況	○	警備会社に依頼し、適切に行われている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	毎月の水質検査や毎日の気温・室水温等の業務記録により適切に行われている。

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

計画(Plan)～実施(Do)							整理番号	指定35	
指定管理者制度導入施設名		野尻湖多目的広場					所属部・課名	経済建設部 商工観光課	
所在地		小林市野尻町東麓5160番地					グループ名	観光G	
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい				指定管理制度導入年度	平成18年度	
	施策	(4)	観光産業の育成・支援に取り組みます				利用料金制の有無	○有・無	
	方針	5	観光施設等の充実				指定管理委託料の有無	○有・無	
指定管理者名称		ハーメックのじり株式会社					自主事業の有無	○有・無	
指定期間		令和7年4月～令和12年3月 ( 5 年間 )					キックバック条項の有無	有・○無	
施設の設置目的		自然環境を活かした施設を活用し、心身の健全な発達、地域振興及び市民の定住促進を図ること。							
指定管理者が行う業務内容	基本事業	施設及び設備の維持管理に関する業務 施設の業務の計画及び実施に関する業務 施設の利用の許可及び制限に関する業務等							
	自主事業	物産の販売 有料遊具の運営 イベントの実施等							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
23,792,528	13,970,690	12,154,447	49,917,665	14,315,310	27,970,061	9,663,521	51,948,892	-2,031,227	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
23,873,000	16,663,000	16,197,000	56,733,000	16,574,000	23,962,000	16,016,000	56,552,000	181,000	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	新遊具「ケロケロ共和国」が完成した3月の利用者数 10,026人 (前年度比150%)	
	入場者数(人)	目標	132,000	100,000	111,530				
		実績	100,332	86,338					

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	天候不良及び令和6年10月から令和7年3月まで実施した遊具改修工事等の影響から、利用者数は前年度比86%の86,338人となった。支出においては、人件費と販売費及び一般管理費の合計額が前年度比99%となり、物価等が高騰する現在において経営努力の効果がみられたが、決算としては2,031,227円の赤字となった。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	令和7年3月に新遊具「ケロケロ共和国」が完成し、3月の利用者数は前年度比150%となった。令和7年度も利用者の増加を見込んでおり、利用者に安心・安全を提供できるよう遊具等の施設内の保守点検業務を徹底し、事故のない運営を行う。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	事業の実施状況及びお客様アンケートの結果等について確認するため、月1回のモニタリングを実施した。
指導事項等及び改善状況	当施設は開設から30年以上が経過し、施設の老朽化がみられる。そのため、施設内において修繕が必要な箇所については、遅滞なく市に報告するよう指導した。また、利用者に安心・安全を提供できるよう、遊具等の保守点検業務をもれなく実施するよう指導した。
指定管理業務の収支状況	指定管理業務の利用者数は前年度比89%の56,753人、売上総利益は前年度比98%の13,970,690円となった。支出においては、人件費と販売費及び一般管理費の合計を前年度比95%に抑え、全体を通して877,360円の黒字となった。
自主事業の収支状況	自主事業の利用者数は前年度比81%の29,585人、売上総利益は前年度比88%の6,977,820円となった。支出においては、人件費と販売費及び一般管理費の合計が前年度比114%となり、全体を通して2,908,587円の赤字となった。
指定管理者の経営状態の健全性	野尻町総合交流ターミナル及び野尻湖多目的広場を通して1,462,383円の赤字決算となった。 しかし、令和6年度、野尻町総合交流ターミナルにおいては、原価率を考慮したレストランのメニュー価格の改定を実施し収益性の改善を図った。野尻湖多目的広場についても、新遊具「ケロケロ共和国」が完成したことにより利用者の大幅な増加が見込まれている。依然として、経営状況は厳しい状態であると判断するが、以上のことから、令和7年度は収益性の改善が期待される。
所管課総合評価	令和7年3月に新遊具「ケロケロ共和国」が完成し、3月の利用者数は前年度比150%となった。 ケロケロ共和国については、令和7年度にかけても継続的にメディア及び情報誌に取り上げられており、市内外を問わず認知度が高まっていると判断できる。 認知度の高まりから令和7年度は今年度と比較して利用者の増加が見込まれている。引き続き、利用者に安心・安全を提供できるよう、遊具等の保守点検業務が徹底されているかモニタリングにて確認する必要がある。

## 【野尻湖多目的広場】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	開館日等を変更する場合は、事前に市長の承認を得ている。
	法令等の順守はされているか。	○	順守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正である。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	確保されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	定期的に訓練を実施するなど、適正な対応がとれている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正である。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正である。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正である。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正である。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切である。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	適切である。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	メディアの取材依頼に協力するなど、利用促進に向けて積極的に取り組んでいる。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切である。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正である。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正である。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正である。
維持管理	清掃業務の状況	○	定期的に実施されている。
	施設、設備の保守管理状況	○	定期的に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	定期的に実施されている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正である。

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)								整理番号	指定36		
指定管理者制度導入施設名				野尻町総合交流ターミナル				所属部・課名	経済建設部 商工観光課		
所在地				小林市野尻町三ヶ野山4347番地1				グループ名	観光G		
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい					指定管理制度導入年度	平成18年度		
	施策	(4)	観光産業の育成・支援に取り組みます					利用料金制の有無	(有)・無		
	方針	5	観光施設等の充実					指定管理委託料の有無	(有)・無		
指定管理者名称				ハーメックのじり株式会社				自主事業の有無	(有)・無		
指定期間				令和7年4月～令和12年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・(無)		
施設の設置目的										都市住民との交流を通じて、農業農村の活性化に資すること。	
指定管理者が行う業務内容	基本事業	施設及び設備の維持管理に関する業務 施設の業務の計画及び実施に関する業務 施設の利用の許可及び制限に関する業務等									
	自主事業	レストランの経営 酒類の販売 イベントの実施等									
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)		
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
36,379,653	16,993,900	93,005,022	146,378,575	34,969,370	12,794,104	98,046,257	145,809,731	568,844			
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)		
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)			
33,093,000	18,456,000	98,294,000	149,843,000	36,275,000	14,904,000	98,348,000	149,527,000	316,000			
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	・浴場利用者数 39,639人 (前年度比104%) ・レストラン利用者数 22,397人 (前年度比109%)			
	入場者数(人)	目標	114,000	122,000	119,000						
		実績	112,759	114,823							

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者 総合評価	浴場及びレストランの利用者数がともに前年度から増加するなど、568,844円の黒字決算となった。 物産販売所の利用者は前年度比98%の52,769人となり減少したが、8月に能登フェア、12月から1月にかけて道の駅くしま連携フェアを実施するなど、利用者を増加させるための取組みを積極的に実施した。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	レストラン及び物産販売所の利用者の増加に繋げることを目的とした新たなイベントの実施や原価率を考慮した価格の見直しを行うなどの取組みにより、収支状況の更なる向上を図る。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	事業の実施状況及びお客様アンケートの結果等について確認するため、月1回のモニタリングを実施した。
指導事項等及び改善状況	施設内において修繕が必要な箇所については、遅滞なく市に報告するよう指導した。また、収支状況の更なる改善を図るため、レストランや物産販売所の商品価格について、必要に応じて原価率を考慮した価格に見直すよう指導した。令和7年2月にレストランメニュー価格の改定が実施され、改善がなされた。
指定管理業務の収支状況	指定管理業務の利用者数は前年度比105%の40,148人、売上総利益は前年度比107%の16,633,800円となった。 支出においては、修繕料が前年度比182%、水道光熱費が前年度比121%となるなど、増加した項目が複数みられたが、全体を通して778,406円の黒字を確保した。
自主事業の収支状況	自主事業の利用者数は前年度比100.4%の74,675人となり、売上総利益は前年度比103%の35,396,663円となった。 支出においては、人件費が前年度比121%となるなど増加した項目が複数みられ、全体を通して209,562円の赤字となった。
指定管理者の経営状態の健全性	野尻町総合交流ターミナル及び野尻湖多目的広場を通して1,462,383円の赤字決算となった。 しかし、令和6年度、野尻町総合交流ターミナルにおいては、原価率を考慮したレストランのメニュー価格の改定を実施し収益性の改善を図った。野尻湖多目的広場についても、新遊具「ケロケロ共和国」が完成したことにより利用者の大幅な増加が見込まれている。依然として、経営状況は厳しい状態であると判断するが、以上のことから、令和7年度は収益性の改善が期待される。
所管課 総合評価	MRTラジオやUMKテレビ、各新聞社での情報発信等の効果が得られ、野尻町総合交流ターミナルとして利用者数は前年度比102%の114,823人となるなど、施設の認知度が高まりつつある。 また、お客様アンケートの結果も良好であり、利用されたお客様へのサービス水準も高いと判断できる。 今後は、令和6年度から実施しているイベントの継続、新たなイベントの実施及びメディアでの発信により集客を図るとともに、お客様に継続的に高水準のサービスを提供できるよう、収益性に着目したモニタリングを実施するなどの取組みが必要となる。

## 【野尻町総合交流ターミナル】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	開館日等を変更する場合は、事前に市長の承認を得ている。
	法令等の順守はされているか。	○	順守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正である。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	確保されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	定期的に訓練を実施するなど、適正な対応がとれている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正である。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正である。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正である。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正である。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切である。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	適切である。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	能登フェア(8月)、道の駅くしま連携フェア(12月-1月)を実施するなど、積極的に取り組んでいる。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切である。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正である。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正である。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正である。
維持管理	清掃業務の状況	○	定期的に実施されている。
	施設、設備の保守管理状況	○	定期的に実施されている。
	保安警備業務の状況	○	定期的に実施されている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正である。

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要

行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票  
令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)								整理番号	指定37
指定管理者制度導入施設名 野尻町有機センター								所属部・課名	野尻庁舎 地域振興課
所在地		小林市野尻町東麓3800番地1						グループ名	営農G
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい					指定管理制度導入年度	平成21年度
	施策	(2)	畜産業を振興します					利用料金制の有無	有・ <del>無</del>
	方針	4	家畜防疫と環境保全					指定管理委託料の有無	<del>有</del> ・無
指定管理者名称		株式会社のじりアグリサービス						自主事業の有無	<del>有</del> ・無
指定期間		令和2年4月～令和7年3月 ( 5 年間 )						キックバック条項の有無	有・ <del>無</del>
施設の設置目的		畜産環境の改善や循環型農業の推進							
指定管理者が行う業務内容	基本事業	畜産農家の家畜排せつ物を有機質資源として再利用し、堆肥製造及び販売を行い、農地に還元する。							
	自主事業	「うぐいす有機」の施用効果PRを目的とした展示園でのバラ栽培。							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
19,338,000	0	24,000,004	43,338,004	0	23,074,531	18,894,750	41,969,281	1,368,723	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
19,323,000	0	25,627,000	44,950,000	0	23,959,000	20,964,000	44,923,000	27,000	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	(株)都夢創より販売している「華みずき」の12,500袋の販売計画に対し12,400袋の販売実績であった。その他、JA営農技術員を対象とした堆肥研修会を実施し、管内販売増加につなげる取り組みを実施した。	
	家畜糞尿の処理(t)	目標		9,240	8,400	8,000			
		実績		7,105	7,650				
	堆肥の販売(t)	目標		3,470	3,012	2,956			
		実績		3,000	2,769				

評価(Check)～改善(Action)

指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	今年度は、JAみやざきこぼやし地区本部の営農技術員を対象に普及センター職員を講師に招き、「堆肥の特性を生かした農作物の作付等」と題して、堆肥研修会を開催し、改めて「うぐいす有機」の宣伝普及を図った。令和6年度上期は長雨、高温異常気象等により農産園芸作物が不作となり、特に食用米の出荷は等級で一等米が激減した上、全国的に食用米の在庫が不足となり価格高騰となったため、令和7年度産の米作生産農家より堆肥散布の依頼が特に須木地区で増加した。加えて異常気象により上期は堆肥散布が減少したものの、下期は水稲用堆肥散布が増加傾向になり前年度より155t増加した。また、今年度も(株)都夢創より「華みずき」を12,500袋計画したが、実績として12,400袋の実績だった。それと、ゴウハラより年度末の2月に屋久島に1,000袋予約があったが、配送の手配が遅れて7年度になり本年度の目標が達成しなかった。以上の推進結果により、堆肥搬入実績は7,650t(前年度7,105tに対して545t増加の107.7%)、製品販売数量は2,769t(前年度3,000tに対して231t減少の92.3%)となり、年間売上高23,969千円(前年度23,324千円に対して645千円増加の102.8%)となった。加入者協議会からの協力金の徴収もあり、1,369千円の当期純利益金額を計上した。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	始業時点検等による不良個所の早期発見、軽微なうちの修繕と定期点検整備を行い経費節減に努めると共に、更なる良質堆肥製造に取り組む。堆肥販売促進については、前年同様に(株)都夢創、(有)ゴウハラ、(株)ラテック等と連携を密にすると共に、販売目標計画の達成に向けて努める。堆肥在庫管理は、施設の有効活用等により在庫管理の適正化を図り、加入者協議会会員の協力のもと、堆肥搬入計画を牛糞4,800t、豚糞1,600t、鶏糞1,600t総量8,000tで堆肥製品製造計画を合計3,040tで計画し、堆肥販売目標計画2,956tを目指す。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	随時施設の状況や管理状況、事業実施状況を直接確認し、役員や従業員から直接話を聞くなど状況把握を適宜行った。
指導事項等及び改善状況	豚糞の搬入が激減し、原料堆肥が不足する事案が発生したことで、管内養豚業者へ依頼するなど豚糞を確保するよう指導した。
指定管理業務の収支状況	経理については会計事務所が行っている。決算報告を確認した結果適正な処理である。
自主事業の収支状況	「うぐいす有機」施用効果PRを目的とした展示園でのバラ栽培を行い、バラ祭りを開催した。
指定管理者の経営状態の健全性	純資産は資本金33,350,000円に対し、当期首残高は30,892,980円となったが、当期末残高は32,261,703円となり、経営の持ち直しが見られる。
所管課総合評価	(株)のじりアグリサービスは、施設の設置目的とその役割を十分認識しながら運営している。令和2年8月より、堆肥製造販売業者とコンサルタント契約を締結し、施設の有効活用と効率的な堆肥生産が推進され、令和3年4月より「うぐいす有機1・2号」を「うぐいす有機」に一本化し製造、同年11月より販売開始し、新規顧客を獲得、高い評価を得ている。令和6年度は水稲作付けが増えたことによる散布サービス利用者の増加もあり、当期純利益を計上することができたが、物価高騰による化成肥料から家畜排せつ物由来堆肥へのシフトによる利用拡大、製品の販路先拡大、露出・知名度向上に向けてはまだまだ取り組みの余地があると思われる。のじりアグリサービスHPを野尻町商工会HPにバナーリンクとして掲載してもらい、のじりアグリサービスHPからも「うぐいす有機」が購入できるようユーザーが使いやすいものとする。製品の利用者インタビューや体験談を通して、利用者の声を収集し、事例紹介としてのじりアグリサービスHPで公開するなど販売体制の強化のための支援を行っていきたい。また今後離農が進む中原料を株主外からの確保をするために産業廃棄物処理業資格の取得についても検討をする必要がある。

## 【野尻町有機センター】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守している。
	法令等の順守はされているか。	○	関係法令は遵守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	退職者の欠員分は補充されている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	労働基準法に沿って勤務させている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	緊急連絡表を作成し対策がなされている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	稼働率は適正である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	—	該当なし
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	—	該当なし
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	備品台帳により管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	期日内に提出している。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	必要な保険に加入している。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	適切に実施している。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	サービスの向上を図っている。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切に対応している。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適切に対応している。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	会計事務所への委託により適正に行われている。
維持管理	清掃業務の状況	○	作業後毎日清掃している。
	施設、設備の保守管理状況	○	適正にされている。
	保安警備業務の状況	○	経費削減のため、警備会社委託から防犯カメラ2台(1週間保存)設置し、監視している。
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に行われている。

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要



# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

計画(Plan)～実施(Do)				整理番号				指定38					
指定管理者制度導入施設名				野尻町高齢者活動促進施設				所属部・課名		野尻庁舎 地域振興課			
所在地		小林市野尻町三ヶ野山137番地								グループ名		営農G	
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい						指定管理制度導入年度		平成21年度		
	施策	(1)	農林水産業を振興します						利用料金制の有無		有・ <del>無</del>		
	方針	4	農家所得の向上						指定管理委託料の有無		<del>有</del> ・無		
指定管理者名称		有限会社のじり農産加工センター						自主事業の有無		<del>有</del> ・無			
指定期間		令和2年4月～令和7年3月 ( 5 年間 )						キックバック条項の有無		有・ <del>無</del>			
施設の設置目的		高齢者の生きがい発揮、雇用促進及び農畜産物の加工製造、特産品開発によって地域の経済発展を図る。											
指定管理者が行う業務内容	基本事業	施設及び設備の維持管理に関する事項											
	自主事業	①農畜産物の加工販売(味噌、アイス、惣菜、菓子、乾物、味噌加工品、漬物、マンゴー加工品) ②各種イベントへの参加											
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支		使用料(市)			
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)					
4,800,000	0	26,129,795	30,929,795	0	14,721,951	17,428,728	32,150,679	-1,220,884					
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支		使用料(市)			
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)					
4,700,000	0	27,151,000	31,851,000	0	14,780,000	17,008,000	31,788,000	63,000					
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	各種イベントへ積極的に参加するなど営業努力を行い、山菜おこわ等の惣菜類が約1.5倍、ふるさと納税の返礼品にもなったアイスセットが約1.2倍となる売上高となった。					
	売上高(万円)	目標	2,645	2,955	2,700								
		実績	2,966	2,597									
	イベント参加日数(日)	目標	27	28	30								
		実績	41	36									

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	年間を通してイベントに参加し、宮崎県内外合計21回出店した。また、食育活動の一環として地元小学校との梅ちぎり体験活動やPTA/バザー等の物販商品にも参加した。製造面では、従業員の意識向上のためHACCPの食品衛生教育を年4回実施し、食品表示に関するセミナーにも参加した。売上実績は、イベント出店により山菜おこわ(総菜類)の売上が去年の1.5倍になった。委託加工は去年の1.3倍、ふるさと納税の返礼品にもなったアイスは1.2倍となった。売上が伸びなかったマンゴー関連商品は、マンゴー仕入れが去年の3割にしか満たず、マンゴーピューレの販売が昨年対比70%となった。最終的には25,967千円(対前年度比87.5%)の売上高となり、△1,220千円の当期純損益となった。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	安定的な仕入れと生産、販売を行い、引き続きイベントやSNSでお客様を増やすことで売上高27,000千円を目指す。製造原価抑制の対策として、水道光熱費などを抑える努力を行う。今年からマンゴーの仕入れ単価が上がる事が決定しているが、JA等関係機関の協力を得ながらマンゴーを4t以上仕入れる。その他、うるち米やもち米、大豆なども九州産、宮崎県産、小林市産と地産地消に積極的に取り組む。原材料や消耗品が現在も値上がり続ける中、段階的に自社商品の値上げも行っているものの、価格転嫁に追いついてはいないが、製造原価を割らないよう努力を続け、最終経常利益63千円を目指す。

### 所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	施設の状況や管理状況、事業実施状況を直接確認し、役員や従業員から直接話を聞くなど状況把握を適宜行った。
指導事項等及び改善状況	特段指導事項等はなかったが、原材料費、人件費や光熱費の高騰という状況があることから、商品価格への転嫁も検討が必要であると考えられる。
指定管理業務の収支状況	経理については、野尻町商工会と連携している。 決算報告書を確認した結果、適正な処理であると判断する。
自主事業の収支状況	原材料や水道高熱費、資材などの経費は昨年に続き高騰した状況の中でも営業努力や経費の削減の工夫など見られるものの、主力商品であるマンゴー等の仕入れ等については改善を図る必要がある。またマンゴーに代わる主力商品の商品開発を合わせて検討する必要がある。
指定管理者の経営状態の健全性	主力商品の原料仕入等を背景に令和6年度においては1,220千円の赤字に転じた。その結果、繰越剰余金も当期末残高で7,646,205円と減少したものの会社としての健全性は維持されており、次期年度における経営回復を期待する。
所管課総合評価	目標以上にイベントに積極的に参加することで、商品PRや販路拡大につながっているなどの努力が見られる。現在の取引先は市内、その他県内、県外合わせて80社以上である。商品によっては売上金額・数量が前年度から伸びているものもあるが、伸びていない商品もあり、今後更に伸ばすための要因分析と商品のブラッシュアップは必要である。 令和7年度も物価高騰はしばらく続くことが予想されることから、更なる売上増と経費削減、主力商品であるマンゴーの原料仕入に対する更なる努力が求められる。 また財政援助団体等に関する監査で指摘を受けた「野尻町高齢者活動促進施設の設置及び管理に関する条例」に規定する内容の精査、地方自治法に基づく指定管理者制度の考え方や指導助言について改善を図ることとする。



## 【野尻町高齢者活動促進施設】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	協定書等を遵守している。
	法令等の順守はされているか。	○	関係法令は遵守されている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	作業内容に応じた効率的な人員を配置している。
	関係法令に基づき、従業者の労働環境は確保されているか。	○	労働基準法に沿って勤務させている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	緊急時連絡表を作成し、月1回行うミーティングにおいて体制の確認をしている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	年間を通じて利用があり、適正である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	—	該当なし
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	—	該当なし
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	確実に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	責任者が鍵のかかる場所に保管し、適正に管理している。
	備品は適正に管理されているか。	○	備品台帳を整備し適正に管理されている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	各報告書等はしっかり提出している。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	必要な保険に加入している。(車両・食品衛生など)
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	適切に実施している。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	常にサービスの向上に努めるよう努力している。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切な接遇を心がけている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適切に対応している。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	その都度報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	商工会への委託も含め、適正に行われている。
維持管理	清掃業務の状況	○	作業後は毎回清掃している。
	施設、設備の保守管理状況	○	適正に保守管理されている。
	保安警備業務の状況	○	警備会社に委託し、適正に行っている。(セコム)
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正に管理されている。

※評価基準 ○適切に実施      △改善が必要      ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				野尻町保健福祉センター				整理番号	指定39
所在地				小林市野尻町東麓1158番地3				所属部・課名	野尻庁舎 住民生活課
総合計画との関連	大綱	2	いきいき					指定管理制度導入年度	平成23年度
	施策	(1)	市民福祉の充実を図ります					利用料金制の有無	(有)・無
	方針	2	地域住民の交流の促進					指定管理委託料の有無	(有)・無
指定管理者名称				社会福祉法人 小林市社会福祉協議会				自主事業の有無	(有)・無
指定期間				令和5年4月～令和10年3月 ( 5 年間 )				キックバック条項の有無	有・無
施設の設置目的									
市民の健康の維持及び福祉の増進を図るとともに市民の自主的な保健福祉活動の拠点とする。									
指定管理者が行う業務内容	基本事業 ①センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ②センターの利用の許可及び制限に関する業務 ③センターの利用料金に関する業務 ④前3項目に掲げるもののほか、センターの運営に関する業務のうち、市長の権限に属する事務を除く業務								
	自主事業 にこにこ運動教室、ボランティア体験「宿題お助け塾」、一人暮らし高齢者のつどい及び弁護士無料相談 小林市社会福祉協議会野尻支所としての業務(地域福祉活動推進等)								
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
5,995,000	386,720	230,389	6,612,109	1,538,822	3,948,423	1,144,974	6,632,219	-20,110	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
5,995,000	420,000	52,000	6,467,000	1,867,000	3,473,000	1,127,000	6,467,000	0	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	衛生管理に努めるとともに、施設・設備の環境整備を行い、安心して利用していただいている。また、地域住民の健康維持・増進事業及びボランティア体験等の自主事業を行っている。	
	施設利用件数		目標	500	500	500			
			実績	457	475				

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者 総合評価	施設利用については、地域・各種団体の活動や市の生涯学習講座の開催によりコロナ禍以前の利用者数に戻りつつある。また、自主事業については、市民の健康保持や交流を図るための事業を計画どおり実施した。 施設管理面においては、利用者が安心・安全に利用できる環境を整えるために施設内外の清掃及び感染症防止の対応などの衛生管理に努めるとともに、施設・設備等の定期点検を実施し、不具合箇所の修繕を行った。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	地域の保健福祉活動の拠点として、利用者が安心・安全かつ利用しやすい施設環境とするため、衛生管理に努めるとともに設備等の定期点検を実施する。また、設備等の更新に際しては省エネ機器の導入など経費節減に努める。 施設利用促進については、地域住民にとって身近で気軽に利用できることを周知するため、Instagram等で利用事例の紹介や自主事業についての情報を提供し、利用者数の増を図る。

### 所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	2週に一度程度の頻度で、保健福祉センターを訪問し、利用状況や施設の管理状況の確認を行った。また、運営協議会において令和6年度の実績の見通しや施設の運営について地域の方からの意見聴取も行った。令和6年度業務報告書及び令和7年度の事業計画書について、令和7年5月23日に書類等の確認を含む最終のモニタリングを行った。
指導事項等及び改善状況	基本的な業務や自主事業など安定して行っているため、今後も市民の保健福祉活動や交流の拠点として管理運営を行うよう指導した。また、情報セキュリティの観点から情報漏洩等には特に最新の注意を図ってもらうように、職員研修等の徹底を指導した。
指定管理業務の収支状況	決算上は20,110円の赤字になっており、指定管理者である社会福祉協議会の補填でまかなわれている。
自主事業の収支状況	にこにこ運動教室(年に43回実施)、宿題お助け塾(夏休み、冬休み)、一人暮らし高齢者のつどい、弁護士無料相談を行っている。今年度は運動教室の参加者が前年度より増加したため利用料収入も増加した。
指定管理者の経営状態の健全性	指定管理者である社会福祉協議会の経営状態の健全性は保たれている。地域の社会福祉の要であると考え意識の高さが職員の言動から読み取れる。また、接遇研修やリスクマネジメント委員会、防災訓練といった日ごろからの備えと、職員の危機管理意識の高さは市民に対して良質なサービスの提供ができる状況が構築できている。
所管課 総合評価	指定管理者である小林市社会福祉協議会は経営面、職員の接遇や研修といった人材育成面、危機管理面など総合して安定的な業務遂行能力を有していると考えられ、評価としては高いものと思われる。今後もこの状況を維持し、更なる自主事業等の拡充を期待することができる。 地域に密着した保健福祉活動の拠点として、また市民活動の拠点施設としても安定的なサービスの提供と管理運営を要望する。

# 【野尻町保健福祉センター】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	開館日、休館日、利用時間は協定書に基づき遵守されている。
	法令等の順守はされているか。	○	消防法に基づき防火管理者の選任と消防計画も作成されている。消防器具の点検、維持管理、防災訓練も年2回行われている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	支所長1名、事務職員1名の2名であるが、何かあれば本所からの補助もある状態であり、業務遂行は適正に行われている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	タイムカード、休暇に関する書類を確認、モニタリング時にも確認したが労働環境は適正に確保されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	緊急連絡網の作成、事故の対応マニュアル、月一回のリスクマネジメント委員会などで適切に対応できている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	前年度と比べると件数は増加しているが利用者は減少している。選挙の回数の関係で減少している。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	申請書の確認をした。許可証は申請書と同時に交付され、申請書の内容等の記載もされており適正に行われている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	利用料金は適正に計算され、領収されている。現金は金庫で保管され、翌日から遅くとも同一週内には本所へ職員が持って行く。送金表なども作成しており、適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	業務報告書やモニタリングを通じ基本事業は確実に実施されていることを確認した。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	申請書類などの書類については、鍵付きのキャビネットに毎日収納、保管が徹底されている。また、職員研修やリスクマネジメント委員会でも個人情報や守秘義務については研修を行うなど徹底されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	備品の確認を行い協定書と一致することを確認した。また、故障時などは協定書に基づき協議を行い、適切に処理している。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	実施計画書・実施報告書は遅延なく提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	毎年度更新の保険に加入している。
利用者サービスの向上の取組	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	にこにこ運動教室など4事業が自主事業として行われている。参加者が増加している事業もあるなど市民の交流活動拠点施設として適切な事業が行われている。
	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	社会福祉協議会だより全世帯配布やHP、インスタグラム、フェイスブック等を利用し、高齢者から若者まで情報の発信を行っている。
	接遇について適切に実施されているか。	○	年一回社会福祉協議会で全職員を対象に研修を行っており、令和6年度は苦情等は無かった。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	苦情に関しては対応マニュアルが作成されており、毎月行われるリスクマネジメント委員会へも報告や情報共有が行われている。
収支の実績	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	令和6年度は苦情や要望等は無かった。
	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	事業報告の収支決算書を確認し、収支は適正であると確認した。
維持管理	経理事務は適正に行われているか。	○	事業報告の収支決算書を確認し、モニタリング時にも質問を行い適正であると確認した。
	清掃業務の状況	○	毎日事務所、ロビー、トイレは清掃を行っている。利用があった部屋についても都度清掃を行っている。
	施設、設備の保守管理状況	○	消防用設備や電気設備等保守点検を委託し、管理している。
	保安警備業務の状況	○	夜間および休日について警備の委託契約を行っている。
維持管理	環境・衛生管理の実施状況	○	施設内に危険箇所は無い。令和7年度に事務所のエアコンを修繕予定である。

※評価基準 ○適切に実施 △改善が必要 ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				出の山淡水魚水族館及び出の山名水ホテル広場				整理番号	指定40,41	
所在地				小林市南西方1091番地				所属部・課名	経済建設部 商工観光課	
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい					指定管理制度導入年度	平成24年度	
	施策	(4)	観光産業の育成・支援に取り組みます					利用料金制の有無	(有)・無	
	方針	5	観光施設等の充実					指定管理委託料の有無	(有)・無	
指定管理者名称				小林まちづくり株式会社				自主事業の有無	(有)・無	
指定期間				令和4年4月1日～令和7年3月31日 ( 3 年間 )				キックバック条項の有無	有・(無)	
施設の設置目的										
水族や自然とのふれあいを通して、本市の観光の振興を図るため										
指定管理者が行う業務内容	基本事業	(1)本施設の施設及び設備の維持管理に関する業務 (2)本施設の業務の計画及び実施に関する業務 (3)本施設の利用の許可及び制限に関する業務 (4)本施設の利用料金に関する業務 (5)前各号に掲げるもののほか、これらの業務に付随する業務								
	自主事業	施設を活用した観光イベント(ドクターフィッシュ体験や館内イルミネーション)及び物品販売(グッズやアイスクリームなど)								
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)		
10,655,000	6,664,150	6,157,068	23,476,218	9,327,837	8,267,213	2,559,674	20,154,724	3,321,494		
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)	
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)		
10,655,000	5,250,000	3,000,000	18,905,000	8,595,000	7,810,000	1,425,000	17,830,000	1,075,000		
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	年間を通じたイベントの開催と併せて、SNS等を活用した情報提供等を積極的に行うことで、入館者数が増加した。		
	入館者数(人)	目標	26,000	26,000	26,000					
		実績	23,687	25,069						

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	入館者数が前年度から1,382人増加した。年間を通じたイベントの開催と併せてSNS等を活用した情報発信を強化した。また、「出の山ほたるまつり」などのイベント時に開館時間を延長するなどの対応も行い、入館者数の増加に繋がった。さらに、生駒高原の「コスモスまつり」からの周遊客をターゲットとした「出の山名水まつりNAORAI」を開催するなど、周辺の観光施設と連携した取り組みを実施した。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	これまで実施してきた自主事業の定着及び更なる集客を図ることと併せて、周辺の観光施設と連携した取り組みを実施し周遊客を確保する。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	年4回のモニタリングと併せて、出の山淡水魚水族館が行う自主事業の支援等を行うことで実地調査を行っている。
指導事項等及び改善状況	特になし。必要に応じて、更なる入館者数の増加のため、出の山淡水魚水族館の館長と協議する。
指定管理業務の収支状況	適正な収支状況であり、入館者数は25,069人(1,382人増)、入館料収入は6,664,150円(2,535,350円増)となった。
自主事業の収支状況	適正な収支状況であり、イベント開催等による集客増により収入は6,155,429円(1,258,245円増)となった。
指定管理者の経営状態の健全性	適正な収支状況であり、指定管理業務と自主事業を通算した収入は23,476,218円(3,750,207円増)となった。
所管課総合評価	年間を通じたイベントの開催と併せて、SNS等を活用した情報提供等を積極的に行うことで、入館者数が増加した。また、指定管理業務と自主事業を通算した収支状況も適正である。今後は、これまで実施してきた自主事業の定着と併せて、周辺の観光施設と連携した取り組みを実施することで、周遊客を確保し、さらには周遊客を生み出す拠点となるよう、必要に応じて指定管理者と協議する。

【出の山淡水魚水族館及び出の山名水ホテル広場】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守している。
	法令等の順守はされているか。	○	遵守している。
	適正な人員配置はなされているか。	○	なされている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	確保されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	緊急時を想定した連絡網を作成している。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正である。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正である。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	適正である。
	備品は適正に管理されているか。	○	適正である。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	遅滞なく提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切である。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	適切である。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組状況はどうか。	○	SNS等を活用した情報発信を行っている。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切である。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	適正である。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	適正である。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正である。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正である。
維持管理	清掃業務の状況	○	適正である。
	施設、設備の保守管理状況	○	適正である。
	保安警備業務の状況	○	適正である。
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正である。

※評価基準 ○適切に実施 △改善が必要 ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				整理番号				指定42	
小林市営牧場				所属部・課名				経済建設部畜産課	
所在地				グループ名				畜産振興G	
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい	指定管理制度導入年度				平成29年4月1日	
	施策	(2)	畜産業を振興します	利用料金制の有無				(有)・無	
	方針	1	肉用牛の振興	指定管理委託料の有無				(有)・無	
指定管理者名称				自主事業の有無				(有)・無	
指定期間				キックバック条項の有無				有・(無)	
施設の設置目的				農家の作業負担の軽減および不受胎牛の解消による子牛生産率の向上とともに地域における子牛生産頭数の維持のための地域拠点施設としての役目を担う。					
指定管理者が行う業務内容	基本事業	① 入退牧管理事務、衛生管理、飼養管理等 預託牛の管理業務 ② 建物等管理、草地管理等 施設の管理業務 ③ ①②に掲げるもののほか、小林市営牧場の運営に関する事務のうち、市長の権限に属する事務を除く業務							
	自主事業	① 肉用繁殖牛を飼養し、生産和牛産子を西諸子牛市場に上場する							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
3,000,000	14,156,900	89,200	17,246,100	14,920,326	3,590,844	316,197	18,827,367	-1,581,267	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
4,500,000	15,330,000	600,000	20,430,000	16,450,000	3,600,000	330,000	20,380,000	50,000	
目標状況	成果指標			R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	重大な事故もなく、農家からの預託牛を飼養管理できた。傷病・罹災等の一時預かりにより離農の減少幅を抑えることに貢献できた。場内・放牧場の整備を行い維持管理に努めた。	
	農家所有牛預託頭数	目標	35,000	18,500	21,900				
		実績	20,521	19,976					
	農協所有牛頭数	目標	90,000	90,000	90,000				
実績		101,883	97,852						

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	基本事業である入退牧管理事務、衛生管理、飼養管理等は滞りなく実施できた。 自給粗飼料の確保が例年ほどできなかった。 飼養管理マニュアルの見直しを行い、健全な牛づくりに努めた。
R7年度取り組み直し改善点・具体的な活動内容	①自給粗飼料の確保するため、採草地の改良・整備を行う。 ②酪農公社の解散に伴い、乳牛の受入れ体制を検討する。 ③放牧場・運動場等の整備行う。

所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	業務報告月報の提出。定期(毎月末)の立入検査を実施。
指導事項等及び改善状況	業務日報は適正に処理されており、今後も適宜確認しながら継続して指導を行う。
指定管理業務の収支状況	受入頭数の減少および飼料価格の高騰が続き、収支が悪化している。自給粗飼料の確保等により支出額の減少を図る必要がある。
自主事業の収支状況	一昨年から継続している飼料価格高騰やセリ価格下落の影響を受け、収支はマイナスとなっている。一方で子牛の販売頭数は増頭しており、今後も販売頭数の増頭と併せた取組みを行い収支向上を目指す。
指定管理者の経営状態の健全性	円安の影響に伴う飼料や資材高騰により収支が悪化していて、要因の分析をしっかりと行っうえで健全経営を目指す。今後、更に市民から求められる施設となるよう安全面、衛生面を十分に考慮した施設等への投資が必要となる。
所管課総合評価	一昨年度、飼料価格高騰への対応のため利用料金の改定を行い黒字経営を行ってきたが、受入頭数の減少に加え、飼料高騰が長引いている影響により収支が赤字へと転じている。 妊娠鑑定後の迅速な退牧の推進や入牧時の牛伝染性リンパ腫(BL)検査による陰性牛の預託継続、傷病・罹災時の一時預かりによる地域畜産への貢献がなされている。自主事業については、市営牧場活用により、子牛の市場供給がなされており、今後も安定的な供給を見込む。また、酪農公社の解散に伴う乳牛受入れ体制の検討、指定管理費変更による収入増加を図る。



## 【小林市営牧場】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	必要に応じて、開業している。
	法令等の順守はされているか。	○	地方自治法、労働基準法、家畜伝染病予防法等の法令に則り業務を行っている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	新規就農者や畜産後継者を積極的に採用し、担い手の育成も行っている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	労基法に基づく就労環境を確保している。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	緊急事態の連絡体制は適切である。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	目標値に近い実績を保っている。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	適正であると認める。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	決算報告書で確認できる。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	仕様書に基づき実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	個人情報や牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法の管理は適正である。
	備品は適正に管理されているか。	○	備品の管理についても適正な管理がなされている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	基本協定に基づく締切を守って提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切に加入している。
利用者サービス向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組み状況はどうか。	○	利用者に応じた対応が取られている。
	接遇について適切に実施されているか。	○	牧場での農家応対等、適切に行われている。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	苦情及び要望等への対応は適切に行われている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	その都度報告されている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正であると認める。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正な経営管理を行っている。
維持管理	清掃業務の状況	○	場内や飼槽等の清掃は朝夕の給餌の際適宜実施している。
	施設、設備の保守管理状況	○	修繕については迅速に実施している。 草地は一部大雨により流出した箇所があったものの、その後改善され、適正に管理できている。
	保安警備業務の状況	○	業務時間外の牧場入り口の施錠を行っており、適正に実施している。
	環境・衛生管理の実施状況	○	獣医師との連携、家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律の遵守を図っている。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要

# 行政評価事務事業【指定管理者制度導入施設】評価票

## 令和6年度事務事業事後評価及び改善計画

計画(Plan)～実施(Do)

指定管理者制度導入施設名				整理番号				指定43	
導入施設名				所属部・課名				経済建設部 商工観光課	
所在地				グループ名				商工G	
総合計画との関連	大綱	1	にぎわい	指定管理制度導入年度				平成30年度	
	施策	(3)	商工業を振興します	利用料金制の有無				(有)・無	
	方針	3	中心市街地活性化の推進	指定管理委託料の有無				(有)・無	
指定管理者名称				自主事業の有無				(有)・無	
指定期間				キックバック条項の有無				有・(無)	
施設の設置目的				中心市街地のにぎわいを創出するとともに、小林駅周辺における交通結節機能の向上を図る。					
指定管理者が行う業務内容	基本事業	(1)市民交流その他地域交流の促進に関すること。 (2)観光情報の発信及び観光案内に関すること。 (3)公共交通機関を利用する旅客の利便性の向上に関すること。 (4)中心市街地のにぎわいを創出するとともに、小林駅周辺における交通結節機能の向上を図ることを達成するために市長が必要と認める事業。							
	自主事業	施設を活用した補助金又は助成金を受けていないこと。							
R6年度収入実績(単位:円)				R6年度支出実績(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
12,430,000	4,236,960	1,134,000	17,800,960	11,528,040	4,080,624	1,076,650	16,685,314	1,115,646	
R7年度収入計画(単位:円)				R7年度支出計画(単位:円)				収支	使用料(市)
指定管理委託料	利用料	その他収入	合計(a)	事業費	人件費	その他の支出	合計(b)	(a)-(b)	
12,430,000	3,260,000		15,690,000	9,210,000	3,020,000	3,240,000	15,470,000	220,000	
目標状況	成果指標		R5年度	R6年度	R7年度	活動の成果 (アピールポイント等)	利用料金等収入については目標値を超えており、増加傾向にある。また、本社及び観光案内所の双方が予約や問い合わせ等対応を行い、自社HPでの空き状況確認を可能とすることで、利用者の手続きの簡便性、利便性の向上につながった。		
	利用料金等収入	目標	2,280,000	2,770,000	3,260,000				
		実績	2,636,480	3,011,360					

評価(Check)～改善(Action)

### 指定管理者による自己評価

指定管理者総合評価	2階交流スペース利用者数は、昨年度より減少したが、財政状況は順調である。施設維持管理業務並びに自主事業企画運営業務については、担当職員を一名配置し、自主事業の運営など、必要に応じ運営スタッフを配置した。また、本社スタッフ一名を補助とし、日々の業務の連携を強化することで、運営の効率化を図れた。
R7年度取り組む見直し改善点・具体的な活動内容	駅周辺における各種イベント、各事業者や団体と連携した事業を継続的に行うことで、更なる中心市街地への集客効果を高め、回遊性の向上による地域活性化を図る。SNSやホームページ、広報誌やマスメディア等のパブリシティを活用し、「まちなか」の動きを広く周知する活動を行い、交流センター及び周辺施設を含めた利用者増加を目指す。

### 所管課の総合評価 ※裏面のモニタリング項目も参考とし評価してください。

モニタリング等実地調査実施状況	4半期ごとのモニタリングを行い、収支や利用者数、自主事業について報告を受けている。また、状況に応じ都度、聞き取り調査を行えた。
指導事項等及び改善状況	施設の修繕が必要箇所の協議や市民からの要望等に関して、報告を受け連携し対応している。状況に応じ、警察等にも情報共有をしながら、改善に努めている。
指定管理業務の収支状況	退職者から社員への引継ぎ期間があり一時的に人員が1人増の状態となった期間があったため、人件費が増加。その他、水道料、レンタルマット料等の支出の増加があったものの、令和6年度の収支は1,058,296円と黒字である。
自主事業の収支状況	自主事業による収入は、各種イベントや年間を通してケータリング事業を実施し、令和6年度の収支は57,350円と黒字である。
指定管理者の経営状態の健全性	適正な収支状況である。
所管課総合評価	市の玄関口、中心市街地の核となる施設の1つとして、様々な自主事業等を継続して行い利用者増加を図っており、財政状況も良好な状態である。本社と観光案内所で連携を取り、予約利用者の対応業務を行うことができていた。HP上で、一般の利用者にも空き状況が確認できるようにし、利用者の利便性の向上に努めていた。保全・保守管理については、毎日巡回し劣化や破損等の点検を実施し、業者と密に連携を図り、溝や排水溝、水垢等の細かい箇所まで清掃を行うことができていた。施設修繕については、優先順位を定めた上で、修繕を行うことができていた。今後も更なる利用者の増加及び施設維持管理に努めていただき、連携を図っていく。



## 【小林市地域・観光交流センター】 モニタリング評価票

	具体的項目	評価	評価に対する説明
適正な管理運営の確保	協定書等に従い、開館日・時間等を遵守しているか。	○	遵守できている。
	法令等の順守はされているか。	○	遵守できている。
	適正な人員配置はなされているか。	○	適正に配置されている。
	関係法令に基づき、従業員の労働環境は確保されているか。	○	確保されている。
	緊急事態の対応がとれているか。	○	マニュアルを作成し、緊急時用携帯を各自持っており、緊急時に備えられている。
	利用者数・稼働率等は適正な水準にあるか。	○	適正である。
	利用・使用許可は迅速かつ適正に行われているか。	○	本社及び観光案内所、HPで受付を行っており、適正に行っている。
	利用料金・使用料は適正に処理されているか。	○	適正に処理されている。
	協定書及び事業計画に基づき、基本事業は確実に実施されているか。	○	協定書等に基づき、基本事業は確実に実施されている。
	個人情報、守秘義務については適正に管理されているか。	○	担当者・副担当者のみしか情報を閲覧できないよう適正に管理されている。
	備品は適正に管理されているか。	○	管理表を作成し、日常的に目視確認が行われている。
	実施計画書・実施報告書を遅滞なく提出しているか。	○	遅滞なく提出されている。
	保険の加入状況は適切であるか。	○	適切である。
	自主事業の実施状況は適切であるか。	○	適切に実施されている。
利用者サービスの向上の取組	利用者サービスの向上や利用促進の取組み状況はどうか。	○	受付業務に関するスタッフ教育や利用者からのアンケート調査等を行い、サービス向上に取り組んでいる。
	接遇について適切に実施されているか。	○	適切である。
	苦情・要望等へは迅速かつ適正に対応しているか。	○	協議の必要な案件に対しては、市と協議し迅速に対応できている。
	苦情・要望等を整理し、遅滞なく市に報告されているか。	○	モニタリング調査や取締役会にて報告を受けている。
収支の実績	収支計画書に基づき適正に執行されているか。	○	適正に執行されている。
	経理事務は適正に行われているか。	○	適正に行われている。
維持管理	清掃業務の状況	○	清掃業者による清掃、スタッフによる日頃の清掃が行われている。
	施設、設備の保守管理状況	○	日常的に巡回点検を行い、状況に応じ修繕等を行っている。
	保安警備業務の状況	○	警備委託、防犯カメラ等により適正に警備されている。
	環境・衛生管理の実施状況	○	適正である。

※評価基準 ○適切に実施    △改善が必要    ×抜本的な見直しが必要